

オペレーター用 使用説明書



モデル C043 冷凍カスタード機器

初版操作手順書

068359JM

2010/07/22(初版)
(2015年8月25日更新)

修理が必要となった際にすばやく情報を参照できるように、以下の情報を事前に記入してください。

テラー正規販売店: _____

住所: _____

電話: _____

整備: _____

パーツ: _____

設置年月日: _____

C043 データ ラベルの情報:

モデル番号: _____

シリアル番号: _____

電気系統の仕様: 電圧 _____ 周波 _____

位相 _____

最大ヒューズサイズ: _____ アンペア

最小回路電流容量 _____ アンペア

パーツ番号: _____

RC35 データ ラベルの情報:

モデル番号: _____

シリアル番号: _____

電気系統の仕様: 電圧 _____ 周波 _____

位相 _____

最大ヒューズサイズ: _____ アンペア

最小回路電流容量 _____ アンペア

© 2010 Taylor Company Inc.

068359JM

いかなる人物による本書のいずれの部分に対する無許可の複製、開示、コピーの配布も、米国およびその他の国の著作権違反となる可能性があり、最高25万ドル(17 USC 504)の法定損害賠償、および民事処罰と刑事処罰の対象となることがあります。全著作権所有。



Taylor Company
750 N. Blackhawk Blvd.
Rockton, IL 61072

目次

| | | |
|-----|--------------------------|----|
| 第1章 | 設置作業を行う方へ | 1 |
| 第2章 | オペレータの方へ | 4 |
| 第3章 | 安全 | 5 |
| 第4章 | オペレーターによるパーツの識別 | 8 |
| | C043 | 8 |
| | ビータードアとホッパーアッセンブリー | 10 |
| | 備品 | 12 |
| 第5章 | オペレーターへの重要事項 | 13 |
| 第6章 | 操作手順 | 14 |
| | 組立 | 14 |
| | 消毒 | 18 |
| | プライミング(充填) | 21 |
| | 稼働中のホールドサイクル | 23 |
| | 操作中に生産を再開する | 25 |
| | 遮断の準備 | 27 |
| | 洗い流し | 28 |
| | 洗浄 | 30 |
| | 分解 | 32 |
| | ブラシ洗浄 | 33 |
| 第7章 | 重要:オペレーターのチェックリスト | 36 |
| | 洗浄と消毒を行う際に | 36 |
| | 細菌数のトラブルシューティング | 36 |
| | 定期的なメンテナンスチェック | 36 |
| | 冬季の保管 | 37 |
| 第8章 | トラブルシューティングガイド | 38 |
| 第9章 | パーツ交換のスケジュール | 39 |

| | | |
|------|----------------|----|
| 第10章 | 機器の限定保証 | 40 |
| 第11章 | パーツの限定保証 | 42 |

注: 調査研究により継続的に改善・改良が行われているため、本説明書の内容は予告なしに変更することがあります。

注: 工場またはその認可翻訳会社により発行された説明書のみが説明書の原本とみなされます。

© 2010 Taylor Company Inc.

(2015年8月更新)

068359JM

いかなる人物による本書のいずれの部分に対する無許可の複製、開示、コピーの配布も、米国およびその他の国の著作権違反となる可能性があり、最高25万ドル(17 USC 504)の法定損害賠償、および民事処罰と刑事処罰の対象となる可能性があります。

全著作権所有。



Taylor Company
750 N. Blackhawk Blvd.
Rockton, IL 61072

第1章

設置作業を行なう方へ

以下の情報は、安全性および規制上のガイドラインとしてこの説明書に含まれています。設置に関する完全な手順については、設置チェックリストを参照してください。

設置作業を行う方の安全



米国外では現地で定められたガイドラインに従って設置してください。ご質問等は最寄りの正規テラー販売代理店までお寄せください。

テラー®機器の設置と整備に際し、設置及び整備に関する基本的な安全対策がすべて行われるように注意を払う必要があります。

- テラー機器の設置、メンテナンス、および修理は、正規テラーサービス担当者のみが行う必要があります。
- 正規テラーサービス担当者は設置や修理を開始する前に OSHA 規定 29CFR1910.147 または現地の業界基準の該当法規に従い、ロックアウト / タグアウトを行う必要があります。
- 正規テラーサービス担当者は設置と修理時に必要に応じて正しい個人保護用具 (PPE) が入手可能で使用されることを確認します。
- 正規テラーサービス担当者は、電気機器の作業を行う前に、すべての金属製の宝飾物、指輪、腕時計を外す必要があります。



設置、メンテナンス、修復のいずれを実行する場合にも、機器への主電源を事前に切断する必要があります。この指示を怠ると、感電したり、動いているパーツにより重症や生命に関わる事態を招いたり、機器の性能低下や破損が起る可能性があります。



この機器には、重症を起こす可能性のある鋭い角が多くあります。

注: 修理はすべて、テラーの認可サービス技術員が行う必要があります。

設置場所の準備

機器を開梱する前に、設置される場所を確認します。設置者、オペレーター、および機器に対する潜在的な危険への対応が行われていることを確認します。

屋内での使用専用:モデル C043は21°~24°C (70°~75°F)の通常の周囲温度において、屋内で操作するように設計されています。この機器は最高で40°C (104°F)の高い周囲温度において、低容量で正常に機能しました。



この機器をウォータージェットやホースが使用できる場所に設置しないでください。機器の清掃や洗浄にウォータージェットやホースを絶対に使用しないでください。この指示に従わないと感電死を招く恐れがあります。



転倒の危険を防ぐため、この機器は平面に設置する必要があります。この機器を移動する際には常に細心の注意が必要です。本機を安全に移動するには、2人以上の人員が必要です。これを怠ると人身への危害や機器への損傷などを招く恐れがあります。

機器を木枠から取り外し、損傷がないことを確認します。損傷が生じた場合には、最寄りのテラー認可販売代理店まで即時にご報告ください。

本機器は米国基準サイズのハードウェアを使い製造されました。メートル単位への変換はすべて概算です。

空冷式機器

空気取入口や排出口をふさがないでください。

C043:最小の空間要件は、機器の左面および背面で76ミリ(3インチ)、右側では0です。ドリップトレイはどちらの側に取り付けることもできます。ドリップトレイを設置する側には、設置と取り外しを行うために914ミリ(36インチ)の空間を開ける必要があります。また、整備点検用に機器の背面に914ミリ(36インチ)の空間を設ける必要があります。

各空冷式機器C043では3器のRC35リモート コンデンサーが必要です。

RC35:60Hzのリモート コンデンサーの各機器では、3面において最低152ミリ(6インチ)の空間が必要とされます。50Hzのリモート コンデンサーの各機器では、3面において最低305ミリ(12インチ)の空間が必要とされます。

床との空間が127ミリ(5インチ)未満の場合は、空気ディフューザをRC35のコンデンサー側に設置する必要があります。(注:一般的に脚部は、最低床空間を保つために10センチ角の木材の上に設置されます。)

十分な空間が無いと機器の冷蔵能力が低下したり、コンプレッサーに致命的な損傷が起こる可能性があります。

水冷式機器

C043:最小の空間要件は、機器の両側および背面で76ミリ(3インチ)です。ドリップトレイはどちらの側に取り付けることもできます。ドリップトレイを設置する側には、設置と取り外しを行うために914ミリ(36インチ)の空間を開ける必要があります。また、整備点検用に機器の背面に914ミリ(36インチ)の空間を設ける必要があります。

給排水接続

充分量の冷却水が手動開閉バルブの操作にて供給される必要があります。ベースパンの底または右側に、簡単に取り付けられる給水と排水の接続部用0.95cm(3/8インチ)I.P.S.給水接続が2つあります。1.27cm(1/2インチ)内径の水管にて機器との接続を行ないます(地域規定で可能な場合は、柔軟性のある配管素材が推奨されます。)その地域の水質条件に応じてフィルター機器を備え付け、異物質の混入による自動給水バルブの詰まりを防ぐことをお勧めします。

「給水」側、「排水」側に1本ずつのみの接続部があります。手動式開閉バルブを「排水」管側に取り付けないでください! 水は常に、最初に自動給水バルブを通り、2番目にコンデンサーを通り、3番目に出口の管継手を通してオープントップ排水へ流れ出るようにします。

最低水圧は30 psi (207 kPa)で、最高水圧は150 psi (1034 kPa)です。



給水接続側には逆流防止機器が必要です。正しい設定については、該当する場所の法規を参照してください。

電気系統の接続

米国において本機器は、現地政府レベルで機器の設置を統治する最新版のNational Electrical Code (NEC: 米国電気規定)のANSI/NFPA70に基づく設置を意図した設計が施されています。

このNEC規定の目的は電気の使用によって発生しうる危険から人身および財産を実用的に保護することです。この規定には安全のために必要とされる基準が記載されています。

米国外では地域で定められたガイドラインに従って機器を設置してください。詳細に関しては該当地域の機関にお問い合わせください。



地域の電気取扱い規定に従ってください!

各機器にはそれぞれのデータ表示ラベルに対して電源供給が1つずつ必要です。分岐回路過の電流保護、ヒューズ、回路電流容量、およびその他の電気仕様については、機器のデータ表示ラベルを確認してください。正しい電源の接続法については、接続箱の中に示される配線図を参照してください。



注意:本機器には正しくアースを接地する必要があります! これを怠ると感電して人身に重大な危害を及ぼす恐れがあります。



この機器には等電位アース用のつまみが備えられています。これは認可された設置者によりフレームの後部に正しく設置する必要があります。設置場所は、取り外し可能なパネルと機器のフレームの上に等電位接合記号(IEC 604171の5021)で記されています。



- 電源コードとプラグ、または電源から装置を遮断するための他のデバイスが固定装置に装備されていない場合には、最低3mmの外周空間を開け、全電極を遮断する機器を使用する必要があります。
- 固定配線に接続され、漏電が10ミリアンペアを超える可能性がある装置は、特に切断されている場合や長期間使用されていない場合、および初回設置時の漏電を避けるため、現地で認可された人員によりGFIなどの保護装置を設置する必要があります。
- この装置で使われる電源コードは、通常のポリクロロブレンまたはそれと同等の合成エラストマーシースのコードまたはそれ以上に重厚な耐油性のシースフレキシブルケーブル(コード指定60245 IEC 57)で、端末でのねじれなどの重圧から絶縁体を保護し、摩耗から絶縁体の導体を保護するための適切なコードのアンカーを備えたものとしします。

電源コードが損傷している場合には、危険を回避するためにテラー認可サービス技術員によって交換する必要があります。

ビーターの回転方向



ビーターの回転方向は冷凍シリンダーの中を上から見たときに左回りになっていなければなりません。

ビーターの回転方向が左回りでない場合には、最寄りのテラー認可サービス技術員にお問い合わせください。

冷媒



環境保護を考慮し、テラーは環境に優しいHFC冷媒だけを使用しています。本機で使用されているHFC冷媒はR404AおよびR134aです。一般的にこれらの冷媒は、オゾン層破壊の可能性(ODP)がゼロ(0)の非毒性及び非可燃性とされています。

しかし圧力のかかったガスは潜在的に危険であり、処理する際には注意を要します。

いずれの冷媒シリンダーにも、液体を完全に満たさないください。シリンダーを約80%に充填すると、通常の拡張が可能となります。



AHRI基準700仕様に準拠するR404AおよびR134aの冷媒のみを使うことができます。他の冷媒を使用すると、ユーザーおよびオペレーターが予期せぬ危険にさらされる可能性があります。



冷媒液が皮膚にかけると、深刻な損傷を起こす可能性があります。目と皮膚を保護してください。冷媒によるやけどを負った場合には、直ちに冷水で洗い流してください。やけどが深刻な場合には、アイスパックを当て、すぐに医師に相談してください。



テラーは冷媒の回収、再生、およびシステムの再利用に関するすべての該当法に注意深く従うよう、技術者を指導しています。これらの法律に関するご質問等は、テラーの整備部門までお寄せください。



警告: ポリオールエステル油と組み合わせると、非常に高い吸湿性があります。冷凍システムを開く最長時間は15分以下とします。油が湿った空気や水を吸収しないように、開いているチューブをすべてキャップで閉じます。

お使いの機器は、高い信頼性を提供するように注意深く設計・製造されています。正しく使い保持すれば、この機器により安定した品質の製品が製造されます。他の機器と同様、この機器も清掃とメンテナンスを必要とします。本書に示された操作手順に注意深く従えば、比較的簡単にお手入れができます。



本機器を運用する前に、**必ず**このオペレーター用使用説明書をすべて**お読みください**。これらすべての操作指示に従わないと、機器に損傷を与えたり、機器の稼働効率が落ちたり、また健康を害したり、人身への危害や死を招いたりする恐れがあります。

テラーの機器では、設定中や充填中に補正やエラー修正が行われません。そのため初回の組立とプライミング手順が非常に重要です。機器の組立と解体の両方を行う稼働責任者全員に対して手順確認上の適切なトレーニングを提供し、混乱がないようにすることが強く推奨されます。

技術上の質問等がございましたら、最寄りのテラーの認可販売代理店にお問い合わせください。

注:テラーの保証は該当のパーツがテラー認可パーツで、最寄りのテラーの認可販売代理店から購入され、必要なすべてのサービス作業が認可サービス技術員によって行われた場合に限り有効です。テラーは、テラー未承認のパーツまたは不正な冷媒が機器に設置された場合や、工場が推奨する範囲外でシステムの修正が行われた場合、および故障が乱用、誤用、怠慢、全操作手順に従わなかったことにより発生したと判断された場合に、機器およびパーツに対する保証を否定する権利を有します。テラーの保証の詳細については、本書の限定保証のセクションを参照してください。



ゴミ箱の禁止マークが本製品に貼付されている場合、この製品はEU指令および2005年8月13日後に有効化された同様の法規に準拠していることを意味します。従って使用後に非分別地区廃棄物として廃棄することはできず、別途に回収する必要があります。

使用者は製品を地域の法令により指定された適切な回収施設に運び、処理する責任を持ちます。

該当する地域の法令に関する詳細情報は、地域の施設および最寄りのテラー代理店までお問い合わせください。

コンプレッサーの保証について

本機種に搭載の冷却コンプレッサーは、保証書に記載の期間に限り保証の対象となります。しかしモントリオール議定書や1990年米国大気浄化修正条項を受けて新しいタイプの冷媒ガスが数多く試験・開発され、サービスに使われるようになってきました。これら新商品の中には、さまざまな機種に対応する代用品として宣伝されているものもあります。注意していただきたいことは、本機種の冷却システムに対する通常のサービスにおいては、**付属のデータラベルに記載されている種類の冷媒だけが使用できる**ということです。許可なく代用品の冷媒ガスを使用した場合、コンプレッサーの保証は無効になります。雇用主の責任においてこのことをすべての従業員に徹底させてください。

もう一つ気をつけていただきたいことは、テラー社は機械で使われる冷媒ガス自体は保証しないということです。例えばこの機器に対する通常のサービスの過程で減少した冷媒に関して、テラー社は有償・無償に関わらず代替の冷媒を提供する義務を負いません。テラーによるコンプレッサーの保証期間である5年間のうちに本来の冷媒ガスが使用禁止、製造中止、あるいは何らかの理由で入手不可能になった場合、テラー社は適切な代替品を推薦します。

時折テラーは新しい冷媒のテストを行うことがあります。テラーの行ったテストの結果新たな製品が代替品として認められることが証明された場合は、上記の「コンプレッサーの保証について」セクションの免責条項はテラーにより認可された代替冷媒の仕様に該当しません。

お使いの機器のコンプレッサーの保証に関わる代替冷媒の状況については、テラー本社または最寄りのテラー代理店までお問い合わせください。その際当該機器の型式及びシリアル番号をお知らせください。

注：調査研究により継続的に改善・改良が行われているため、このオペレーター用使用説明書の内容は予告なしに変更することがあります。

テラー社では、オペレーターが機器本体や機器のパーツに接触する際の安全を考慮し、オペレーターとサービス技術員両方の安全を守るための内蔵安全機能を設計製造することに専心努力しております。

システムの圧力と電気部品により、冷蔵機器の設置と整備には危険が伴うことがあります。冷蔵機器の設置、修理、および整備は、トレーニングを受け、資格を持つサービス担当者のみが実行する必要があります。冷凍機器で作業を行う際には説明書、機器に貼られているタグやラベル、およびその他の安全注意事項に従います。すべての安全法規要件に従います。安全めがねと作業用手袋を着用します。



重要 — 以下に示す安全の心掛けを怠ると、人命に関わる重大な事故を招く恐れがあります。また警告に従わないと、機器や部品に損傷を招く恐れがあります。このような損傷を起こすと、部品交換や修理サービスなどの費用発生のもととなります。



本機器を運用する前に、必ずこのオペレーター用使用説明書をすべてお読みください。これらすべての操作指示に従わないと、機器に損傷を与えたり、機器の稼働効率が落ちたり、また健康を害したり、人身への危害や死を招いたりする恐れがあります。



この機器は、訓練を受けた担当者のみが使用するものとします。この機器は子ども、および身体、五感、精神上的の障害者、さらに経験や知識を十分に持たない人による使用を目的としていません。セルフサービスによる使用などの限られた範囲における一般による機器の運用が許されている場合には、トレーニングを受けた人員による機器の使用に関する監督や指示が必要とされます。



機器の清掃や洗浄にウォータージェットを使用しないでください。この指示に従わないと、感電死を招く恐れがあります。



- テラーの認可サービス技術員がすべての修理を行う必要があります。
- どのような設置、修復、メンテナンスを実行する場合にも、機器への主電源を事前に切断する必要があります。
- アースを正しく接続せずに本機器を運用しないでください。
- この機器で、データ表示ラベルの指定を超える容量のフューズを使用しないでください。
- コード接続ユニット: テラー認可技術員または有資格の電気工のみが、これらの機器でプラグの設置やコードの交換を行うことができます。
- 固定配線に接続され、漏電が10ミリアンペアを超える可能性がある機器は、特に切断されている場合や長期間使用されていない場合、および初回設置時に特に漏電を避けるため、現地で認可された人員によりGFIなどの保護装置を設置する必要があります。
- 固定機器が電源コードとプラグ、または電源から機器を遮断するための他のデバイスを持たない場合には、最低3 mmの外周空間と電極を遮断するデバイスが必要です。
- この装置で使われる電源コードは、通常のポリクロロプレンまたはそれと同等の合成エラストマーシースのコードまたはそれ以上に重厚な耐油性のシースフレキシブルケーブル(コード指定60245 IEC 57)で、端末でのねじれなどの重圧から絶縁体を保護し、摩耗から絶縁体の導体を保護するための適切なコードのアンカーを備えたものとします。
電源コードが損傷している場合には、危険を回避するためにテラー認可サービス技術員によって交換する必要があります。

この指示に従わないと、感電死を招く恐れがあります。各種サービスについては最寄りのテラー正規販売店にお問い合わせください。



- 本機操作のトレーニングを受けていない人員に取扱わせないでください。
- 全てのサービスパネルやアクセスドアをネジでしっかり固定しないまま本機の運用を行わないでください。
- 制御スイッチをすべてオフにせず、内部駆動パーツ(フリーザードア、ビーター、スクレーパーブレードを含むがこれらに限られない)の取外しを行わないでください。

これらの指示に従わないと、危険な各種の動いているパーツによって、特に手や指など身体に関わる重大な事故を招く恐れがあります。



この機器には、重症を起こす可能性のある鋭い角が多くあります。

- ドア取出し口に物や指などを入れないでください。これを守らないと製品の汚染や、刃との接触による人身事故の恐れがあります。
- ビーターのアッセンブリーを取り外す際は**細心の注意を払ってください**。スクレーパーブレードは大変鋭利です。



この機器は平らな場所に設置する必要があります。この機器を移動する際には常に細心の注意が必要です。本機を安全に移動するには、2人以上の人員が必要です。これを怠ると人身への危害や機器への損傷などを招く恐れがあります。



本機のサービスエリアにアクセスできるのは、特に安全と衛生において、機器に関する知識と実務経験を有する人員に限定する必要があります。



清掃や洗浄のスケジュールは現地の規制機関によって管理されており、それに準じる必要があります。本機を清掃するための適切な手順については、このオペレーター用使用説明書の清掃のセクションを参照してください。



この機器は、製品の温度を5°C未満に維持するように設計されています。この機器に追加される製品はいずれも5°C未満でなければなりません。この指示を怠ると、人体障害や冷凍稼働効率の低下を招く恐れがあります。

製品が入っていない状態で機器を稼働させないでください。この指示に従わないと、機器の損傷を招く恐れがあります。

屋内での使用専用:モデルC043は21°~24°C(70°~75°F)の通常の周囲温度において、屋内で操作するように設計されています。この装置は40°C(104°F)の高い周囲温度において、低容量で正常に機能しました。

騒音レベル:空中放出騒音量は、本機の表面部から1.0m、床上1.6mの位置の計測で78デシベル(A)以下となっています。

最小空間: 空冷式機器

空気取入口や排出口をふさがないでください。

C043:最小の空間要件は、機器の左面および背面で76ミリ(3インチ)、右側では0です。ドリップトレイはどちらの側に取り付けることもできます。ドリップトレイを設置する側には、設置と取り外しを行うために914ミリ(36インチ)の空間を開ける必要があります。また、整備点検用に機器の背面に914ミリ(36インチ)の空間を設ける必要があります。

各空冷式機器C043では3器のRC35リモート コンデンサーが必要です。

RC35(空冷式C043機器のみ):60Hzのリモート コンデンサーの各機器では、3面において最低152ミリ(6インチ)の空間が必要とされます。

50Hzのリモート コンデンサーの各機器では、3面において最低305ミリ(12インチ)の空間が必要とされます。

床との空間が127ミリ(5インチ)未満の場合は、空気ディフレクターをRC35のコンデンサー側に設置する必要があります。(注:一般的に脚部は、最低床空間を保つために10センチ角の木材の上に設置されます。)

十分な空間が無いと機器の冷蔵能力が低下したり、コンプレッサーに致命的な損傷が起こる可能性があります。

最小空間: 水冷式機器

C043:最小の空間要件は、機器の両側および背面で76ミリ(3インチ)です。ドリップトレイはどちらの側に取り付けることもできます。ドリップトレイを設置する側には、設置と取り外しを行うために914ミリ(36インチ)の空間を開ける必要があります。また、整備点検用に機器の背面に914ミリ(36インチ)の空間を設ける必要があります。

第4章

オペレーターによるパーツの識別

C043

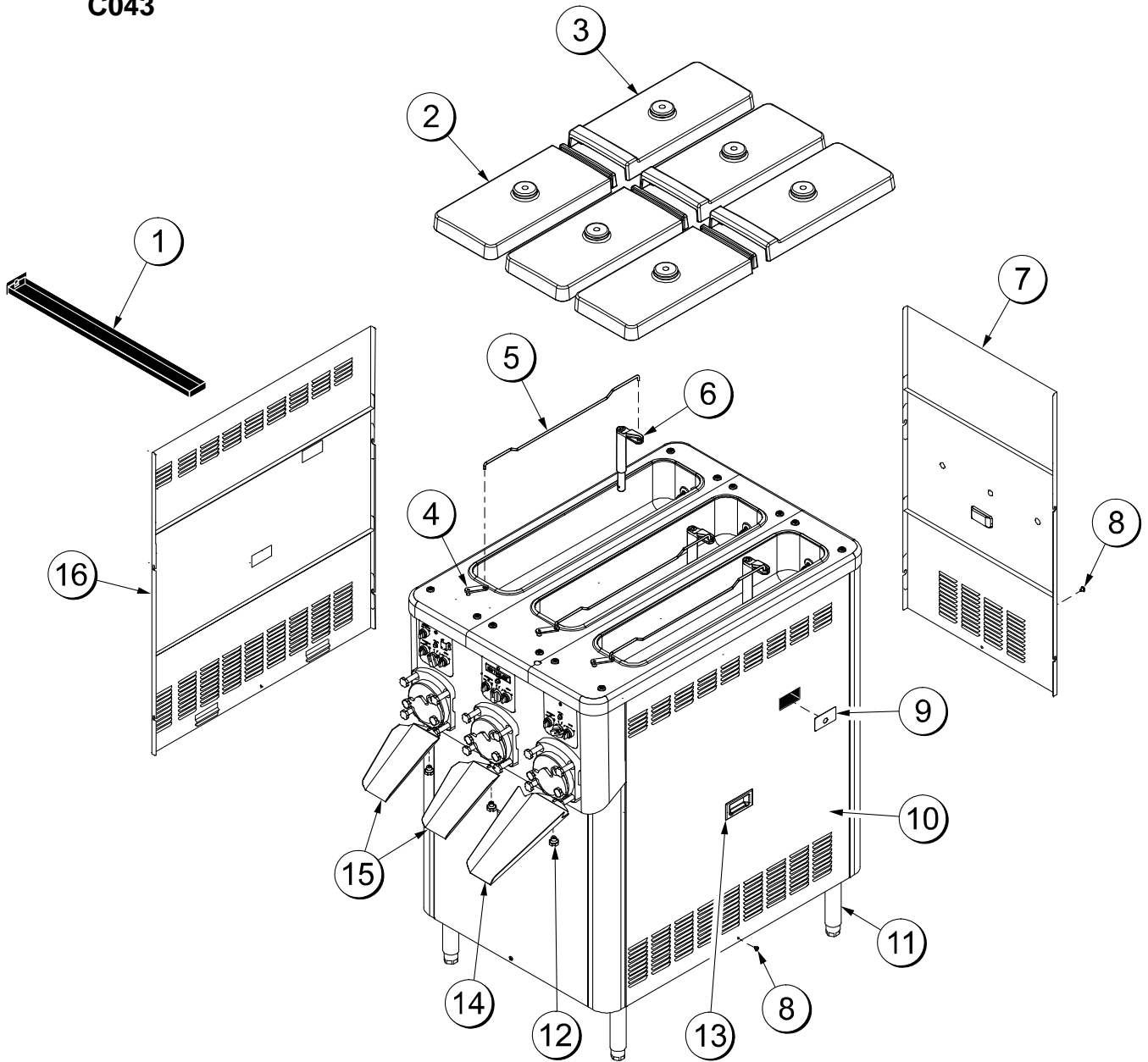


図1

分解図 パーツの名称

| 項目 | 説明 | パーツ番号 |
|----|----------------------------|--------|
| 1 | トレーアッセンブリー - ドリップ | X63636 |
| 2 | ホッパーカバー - フロント INS | 065701 |
| 3 | ホッパーカバー - フロント INS | 065700 |
| 4 | レバーアッセンブリー - 流量調整 | X66923 |
| 5 | 棒 - 流量制御 | 063593 |
| 6 | チューブ アッセンブリー - フィード プラスチック | X67453 |
| 7 | パネルアッセンブリー - リア | X63715 |
| 8 | ネジ - 1/4-20X3/8 PHIL TRUSS | 038872 |

| 項目 | 説明 | パーツ番号 |
|----|-----------------------------|--------|
| 9 | カバーアッセンブリー - パネル - 側面 | X65637 |
| 10 | パネルアッセンブリー - 右側面 | X63720 |
| 11 | 脚 - 8" 2"OD-3/4-10 STUD-HEX | 044652 |
| 12 | ナット - STUD | 043666 |
| 13 | ハンドル - STNLS FLUSH PULL | 019043 |
| 14 | シュート - 長 | 063619 |
| 15 | シュート - 短 | 063618 |
| 16 | パネル アッセンブリー - 左側 | X63724 |

ピータードアとホッパーアッセンブリー

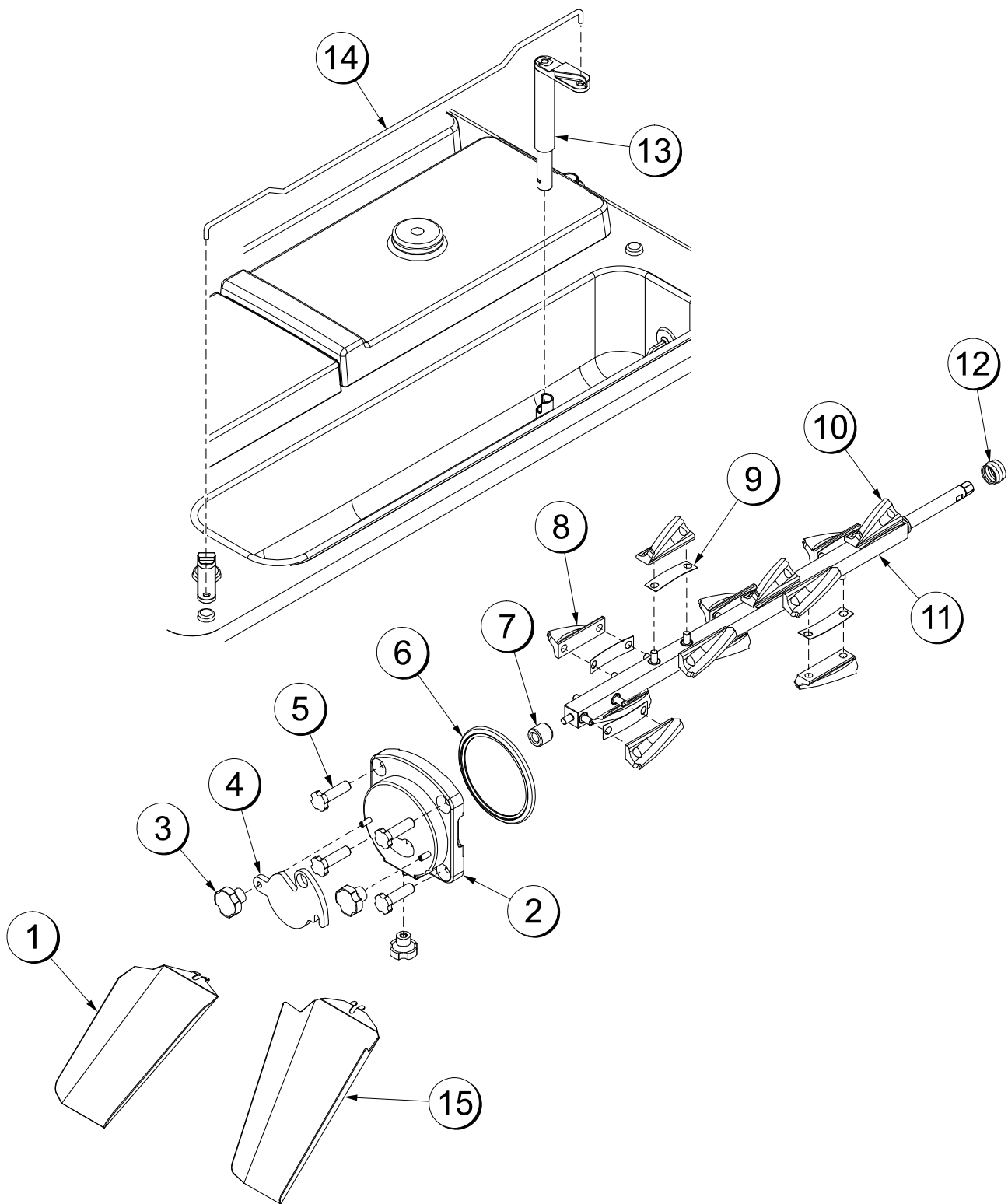


図2

ピータードアとホッパーアッセンブリー パーツの識別

| 項目 | 説明 | パーツ番号 |
|----|-----------------------|------------|
| 1 | シュート | 063618 |
| 2 | ドア アッセンブリー | X63611-SER |
| 3 | ナット - STUD | 043666 |
| 4 | プレート - ドローアーム | 063614 |
| 5 | ナット - STUD | 034383 |
| 6 | ガスケット - ドア HT 4IN-DBL | 048926 |
| 7 | ベアリング - ドア - フロント | 064315 |
| 8 | スクレーパーブレード 30 PITCH | 063656 |

| 項目 | 説明 | パーツ番号 |
|----|----------------------------|--------|
| 9 | スプリング-DASHER BLADE | 063693 |
| 10 | スクレーパーブレード - リア | 063640 |
| 11 | かくはん器アッセンブリー - カスタード | X83275 |
| 12 | 封印材 - 回転軸 | 032560 |
| 13 | チューブ アッセンブリー - フィード プラスチック | X67453 |
| 14 | 棒 - 流量制御 | 063593 |
| 15 | シュート - 長 | 063619 |

付属品

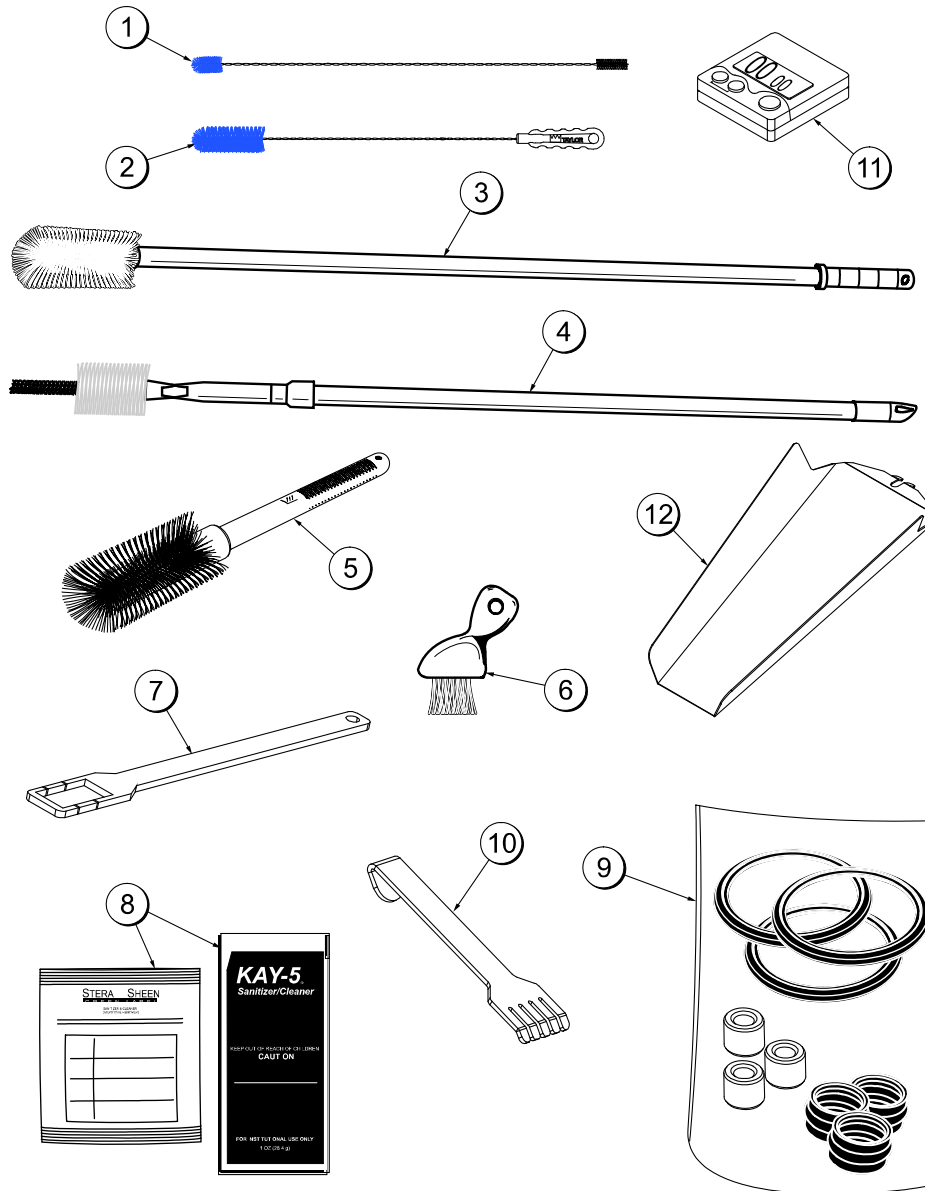


図3

| 項目 | 説明 | パーツ番号 |
|----|--|--------|
| 1 | ブラシ - 両端 - ポンプ&フィード | 013072 |
| 2 | ブラシ - ドローバルブ 外径2.5cm x 5cm x 42.5cm | 013073 |
| 3 | ブラシ - バレル | 063843 |
| 4 | ブラシ - リアベアリング | 063844 |
| 5 | ブラシ - ミックスポンプ本体 7.5cm X 17.5cm | 023316 |
| 6 | ブラシ - 先端 - ドア - 取出し口-SS | 039719 |

| 項目 | 説明 | パーツ番号 |
|----|---------------------------|--------|
| 7 | ツール - DASHER SHAFT REMOVE | 063623 |
| *8 | 消毒剤 | 注を参照 |
| 9 | キットアッセンブリー - 整備 | X64743 |
| 10 | レーキ - 刃ガード | 064888 |
| 11 | タイマー - カウントダウン - デジタル | 065425 |
| 12 | シュート - 長 | 063619 |

**消毒剤のサンプルが機器に同梱されています。再注文では、
STERA SHEENパーツ番号 055492(100パック)またはKay-5
パーツ番号 041082(125パック)を注文します。

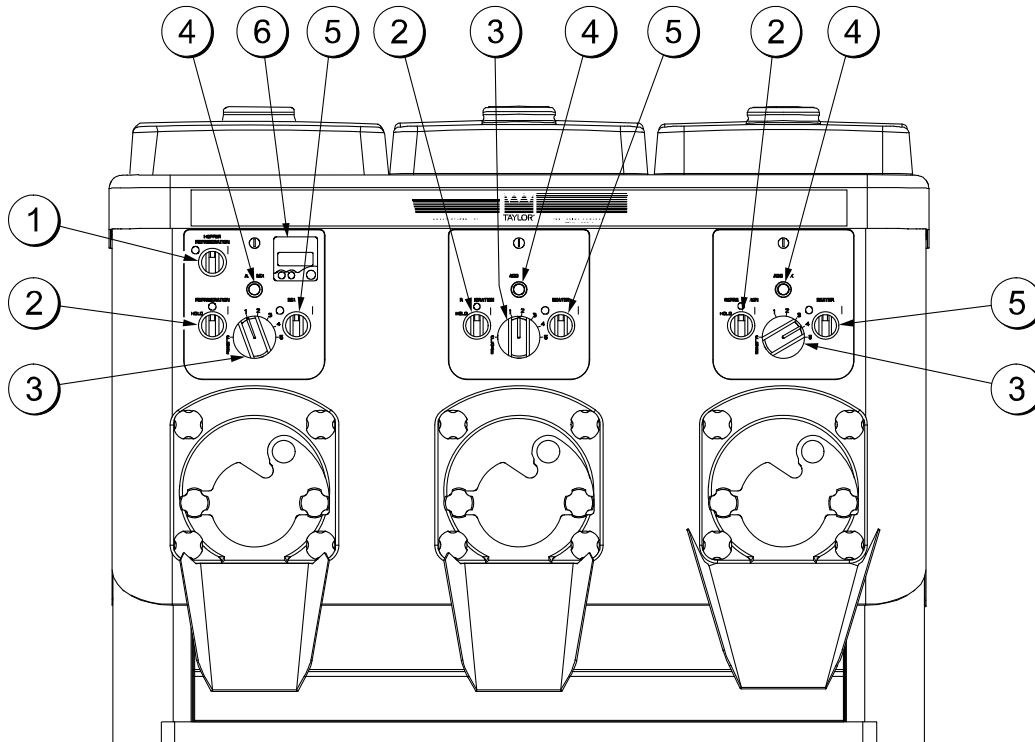


図4

| 項目 | 説明 |
|----|-----------------|
| 1 | ホッパー冷蔵スイッチ |
| 2 | 稼働冷蔵スイッチ |
| 3 | 流量調整ノブ |
| 4 | ミックス不足インジケータランプ |
| 5 | ピーターモータースイッチ |
| 6 | デジタルカウントダウンタイマー |

ホッパー冷蔵スイッチ

ホッパー冷蔵スイッチはホッパーの冷蔵を開始する際に使います。

稼働冷蔵スイッチ

稼働冷蔵スイッチをオンにして製品を抽出します。「非販売」期間中、スイッチを「HOLD(ホールド)」の位置にして製品を冷凍シリンダー内で冷蔵した状態に維持します。

流量調整ノブ

流量調整ノブにより冷凍シリンダーへの製品の流れを調整します。

注: 調整を行う際には必ず、最初に調整ノブを「5」に回転してから希望する数字に合わせます。

ミックス不足インジケータランプ

ミックス不足インジケータランプは、ミックスホッパー内の残量がわずかとなり、早急に追加する必要がある際に点灯します。

ピーターモータースイッチ

ピーターモータースイッチをオンにするとピーターモーターが作動します。

デジタル カウントダウン タイマー

デジタル カウントダウン タイマーは、製品の品質を制御するために必要な時間を測るために使われます。

この機器は3フレーバーのカスタードフリーザーです。これには3つの28リットル(30クォート)ホッパーが備えられています。ミックスは調整可能な流量制御を通り冷凍シリンダー内に重力によって流出します。この機器は、保存用キャビネットから味わいの深いカスタード製品を作り、抽出して販売するように設計されています。通常オーバーランは20-25%で、ミックスの混合比率と最終製品の温度(-7.8°Cから -6.1°C)に応じて変化します。

ここでは、パーツが分解され事前の洗浄後の空気乾燥が済んでいるところから説明を始めます。

以下の手順には、各パーツをフリーザーに設置し、消毒し、新鮮なミックスでプライム(充填)する方法が示されています。

フリーザーを初めて分解する際、もしくはこの説明の開始点よりも前の情報を必要とする場合は、32ページの「分解」を参照してください。

組立て



ベーターモータースイッチがオフになっていることを確認してください。この指示を怠ると、危険な各種の可動パーツによって手や指など身体に関わる重大な事故を招く恐れがあります。

ベーターシャフト、スクレーパーブレード、およびフィードチューブアセンブリ

手順1 冷凍スイッチとベーターモータースイッチが両方ともオフの位置にあることを確認します。

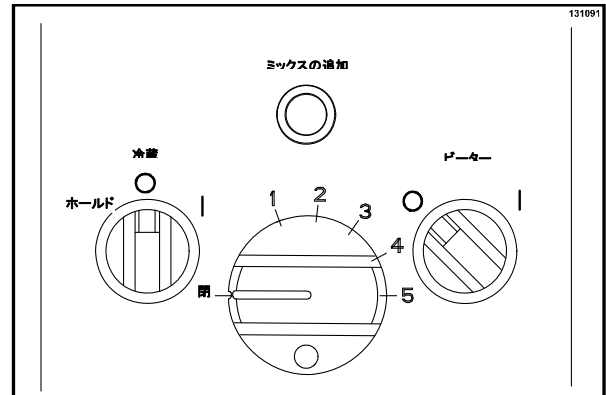


図5

手順2

適量の潤滑剤をベーターシャフトの溝回りに適用します。

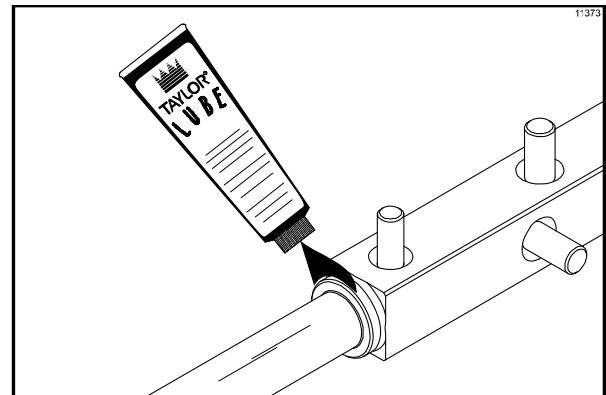


図6

注: パーツに潤滑剤を塗る場合は、指定された食品用の潤滑剤(例えば、Taylor Lube)をご使用ください。

手順3

封印材をシャフトと溝にはめ、所定位置のきちつとはまる所まで押し込みます。

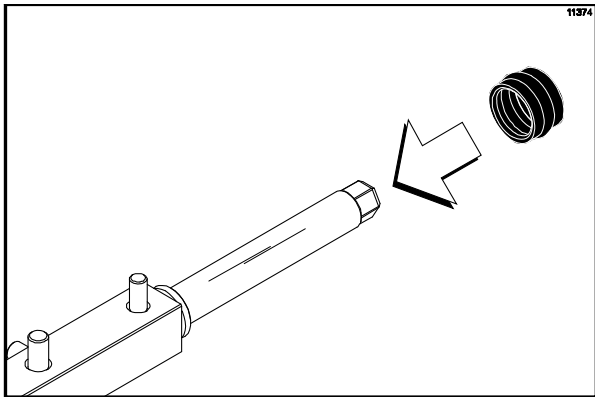


図7

手順4

さらに6ミリほどの潤滑剤を封印材の内側部分に挿入し、リアシェルベアリングに接触する封印材の面に塗ります。

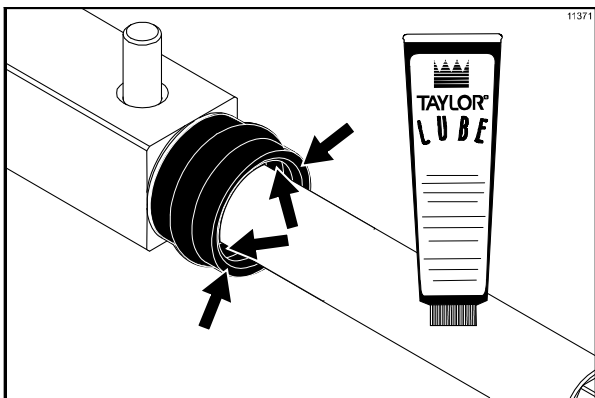


図8

手順5

ビーターシャフトに潤滑剤を塗ります。**重要！**
ビーターシャフトの六角の先端部には潤滑剤を塗らないでください。

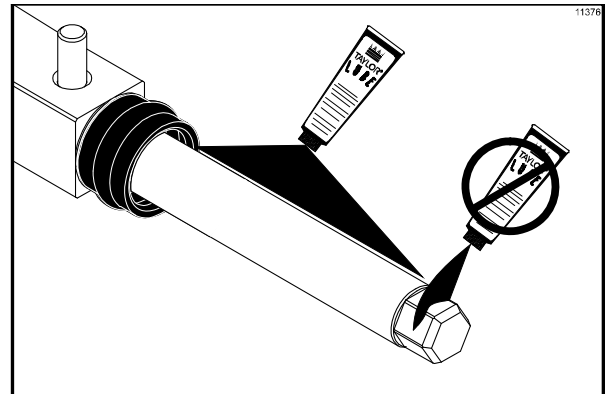


図9

手順6

スクレーパーブレードに刃こぼれや摩耗の兆候がないことを確認します。刃こぼれや摩耗の兆候がある場合はブレードを取り替えます。

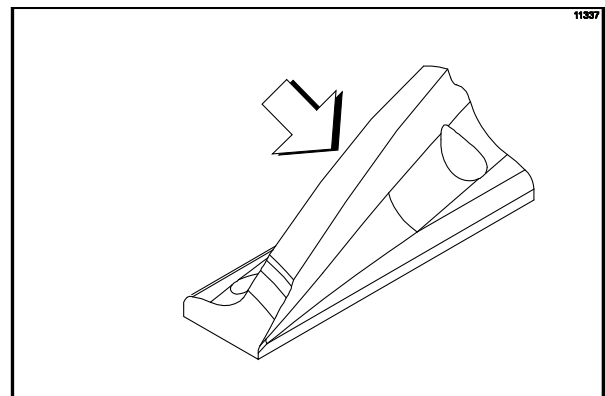


図10

手順7

ピーターシャフトの六角の先端から、その先端に最も近い2つのピンの上に上向きに反った状態で金属の板バネを配置します。板バネの上に長いスクレーパーブレードを取り付けます。(注: 1つのピーターに対して長いスクレーパーブレードが1つだけあります。)

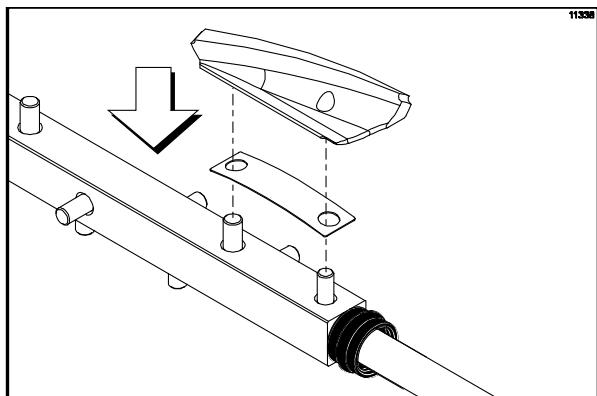


図11

手順8

板バネと短いスクレーパーブレードを次の場所のピンに配置します。

手順9

2枚の板バネとスクレーパーブレードを、適切な位置で押さえます。スクレーパーブレードが冷凍シリンダーの所定位置にフィットするまで、冷凍シリンダーにピーターシャフトを挿入します。次の場所のピンが上を向くまでピーターシャフトを左回りに回転させます。

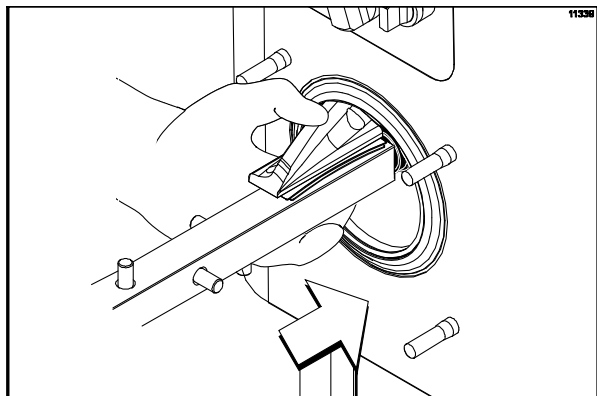


図12

手順10

板バネと短いスクレーパーブレードを次の場所のピンの上に置きます。ブレードが冷凍シリンダーの所定位置にフィットするまで、冷凍シリンダーにピーターシャフトを挿入します。次の場所のピンが上を向くまでピーターシャフトを左回りに回転させます。

手順11

12枚のブレードが設置されるまで、ピーターシャフトに板バネと短いスクレーパーブレードを追加し続けます。

手順12

ピーターシャフトを少し左回りに回転しながら、冷凍シリンダーに挿入します。六角の先端部を機器背面の回転継手にしっかりと噛み合わせます。ピーターシャフトアセンブリーの正方形の部分、冷凍シリンダー内に完全にはめ込む必要があります。ベアリング支持ピンが冷凍シリンダーから突起します。

注: ピーターを設置中に回転させるには、ピーターを外すツールを使うと役立つことがあります。

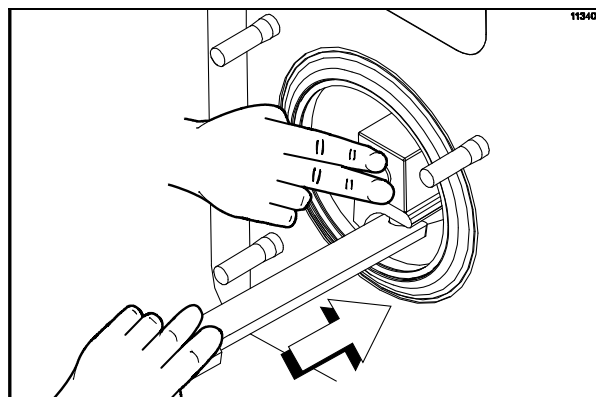


図13

注: ピーターを外すツールをドリップパンに保管すると便利です。

手順13

ベアリング支持ピンにフロントベアリングを設置します。

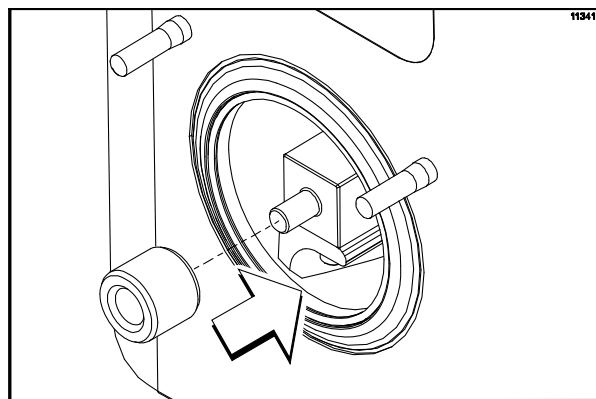


図14

手順14

残りの冷凍シリンダーで組立ての手順を繰り返します。

ドアの組立て

手順1

ドアが水平な状態で、ドロアームプレートを取り付けます。短いスタッドナット3個をすべて取り付け、緩い状態のままとします。

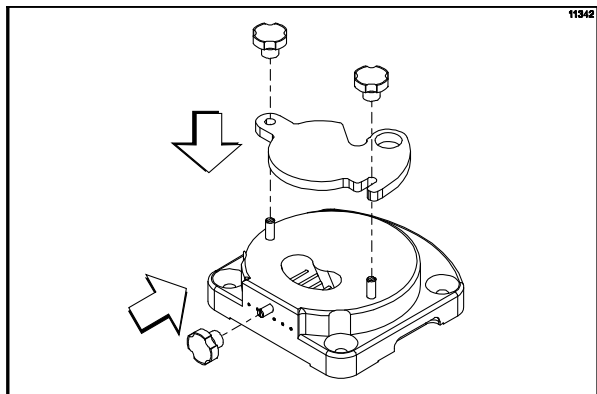


図15

手順2

ドアを裏返し、ドアのガスケットを取付けます。

注: 長期的にガスケットで漏れが起こるため、ガスケットで潤滑剤を使わないでください。

手順3

突起せずに溝にしっかりとハマるように、ガスケットを全体的に押し入れます。ガスケットを正しい位置に設置するには、少し引っ張ることが必要な場合があります。

ガスケットが正しい位置にあることを確認するため、ガスケットの中央部分が上方に反っていることを確かめます。ガスケットの中央部分がへこんでいたり封印材の中央部方向に突起している場合は逆であるため、封印材を裏返します。

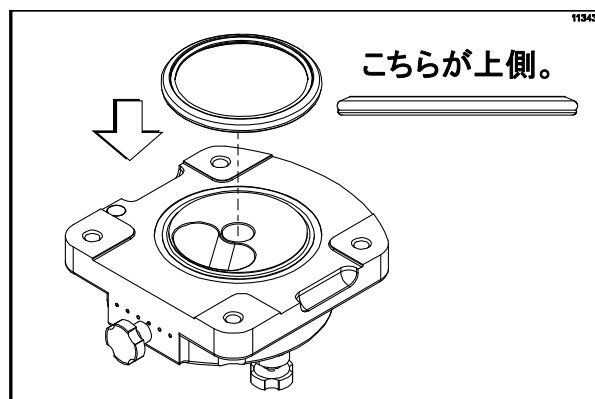


図16

手順4

ドアをフリーザーのボルト上に配置します。ドアのガスケットが落ちないようにするには、ドアが冷凍シリンダーと同面上になるように片手で押さえながら、もう一方の手でボルトのナットを取付けます。ドアがぴったりと閉まるように、対角線状にボルトのナットを手で均等に締めます。

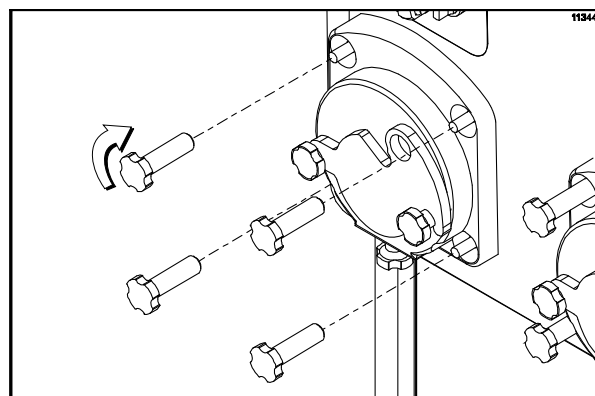


図17

手順5

残りの冷凍シリンダーでも組立て手順を繰り返します。

消毒

手順1

ぬるま湯を使い、指定の100 PPMの消毒溶液を用意します(例: 19リットルのKay-5R、または15リットルのSteri-SheenR)。温水を使い、メーカーの仕様に従って作業してください。

手順2

フィードチューブと流量制御棒をホッパーの底に平らに置きます。

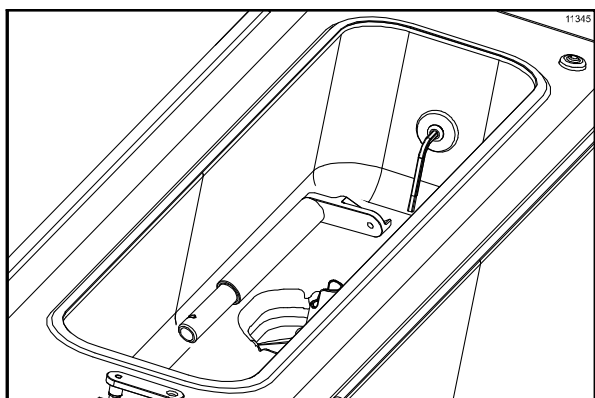


図18

手順3

ホッパー内に製品シュートを配置します。

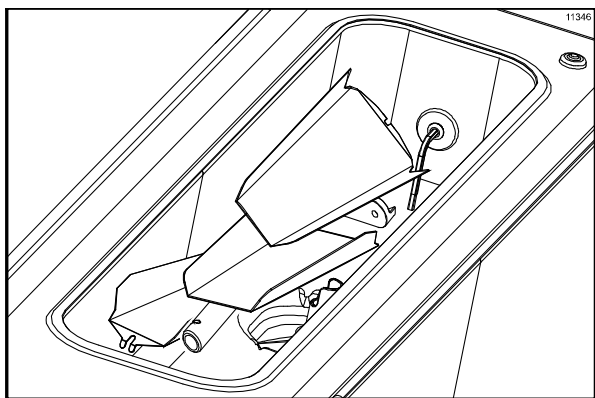


図19

手順4

ドロアームプレートが閉じており、ドアボルト用の短いナットがしっかりと締まっていることを確認します。

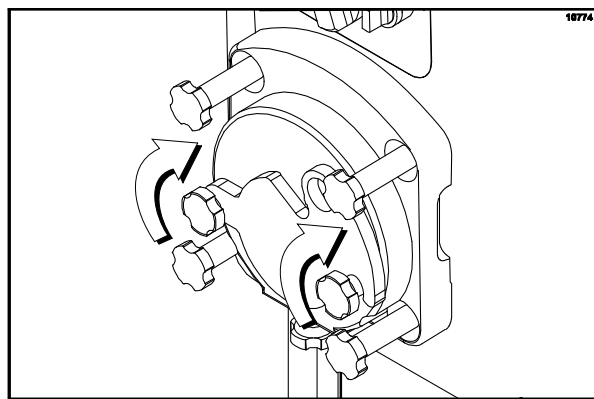


図20

手順5 ドアのボルトにスプラッシュガードを取り付けます。

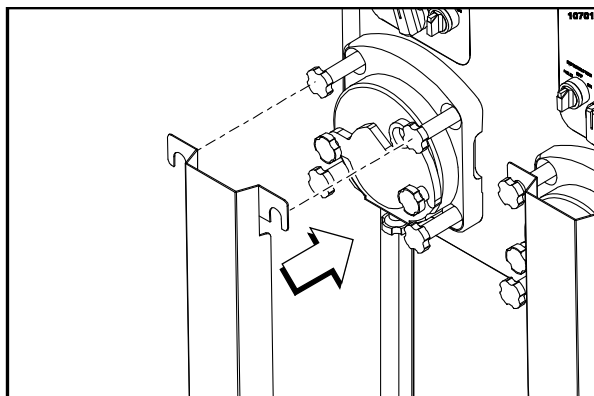


図21

手順6 冷蔵スイッチとホッパー冷蔵スイッチがオフになっていることを確認します。

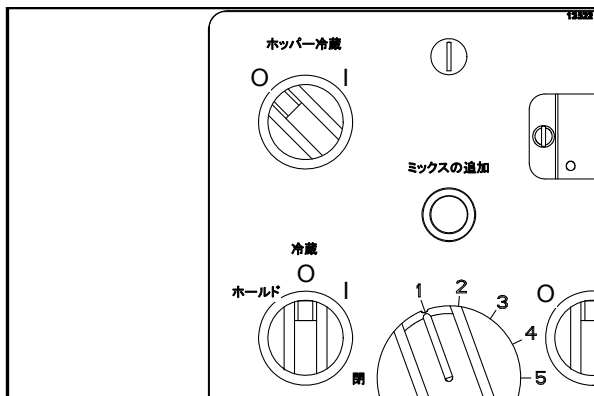


図22

重要！ 冷凍シリンダーやホッパー内に水が存在する際には、冷蔵をオンにするべきではありません。

手順7

空の容器をドロアームプレートの下に置きます(機器に水受けがない場合)。

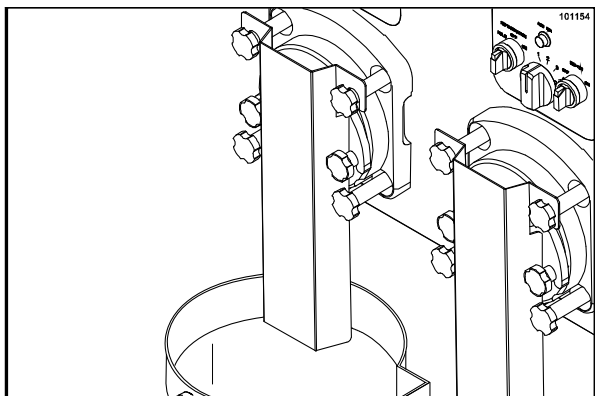


図23

手順8

消毒溶液をホッパーに流し込みます。

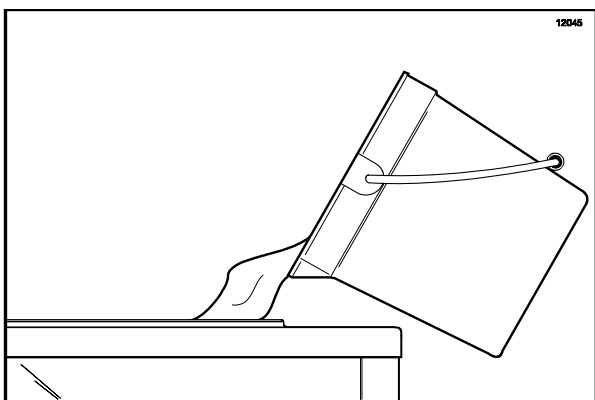


図24

手順9

ミックス ホッパーをブラシで洗います。

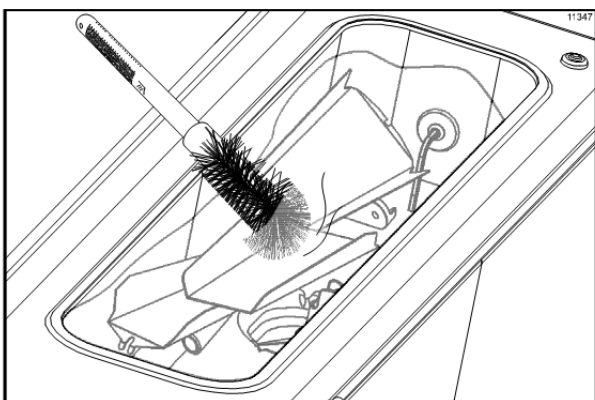


図25

手順10

ピータースイッチをオンにして、タイマーを5分に設定します。

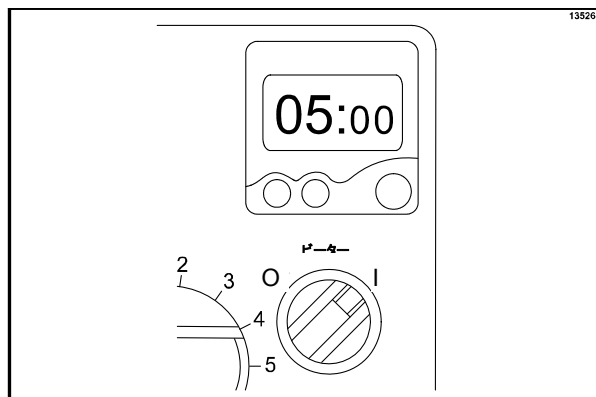


図26

手順11

5分後にドロアームプレートを開き、空の容器に消毒剤を流し出します。

注:お使いの機器に水受けがある場合にはそこに消毒剤を流し出します。

手順12

ピータースイッチをオフにして、流量調整ノブを「CLOSE(閉)」の位置にします。

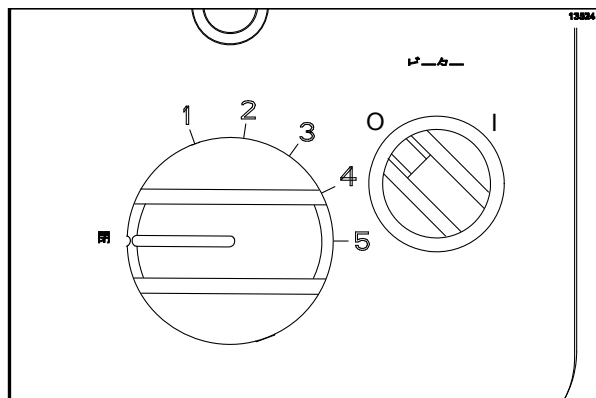


図27



重要！ 次の手順に進む前に手を洗い消毒します。

手順13

スプラッシュガードをドアから外します。

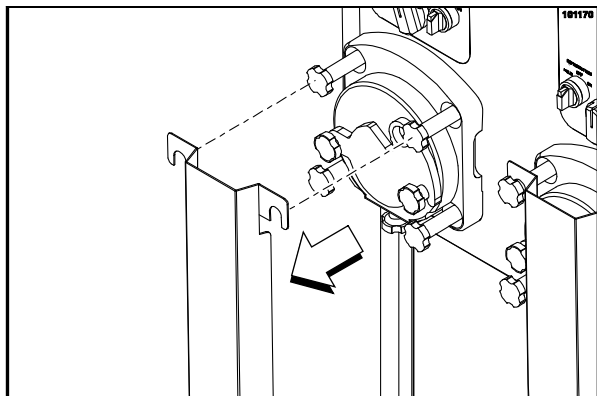


図28

手順14

シュートをホッパーから外します。

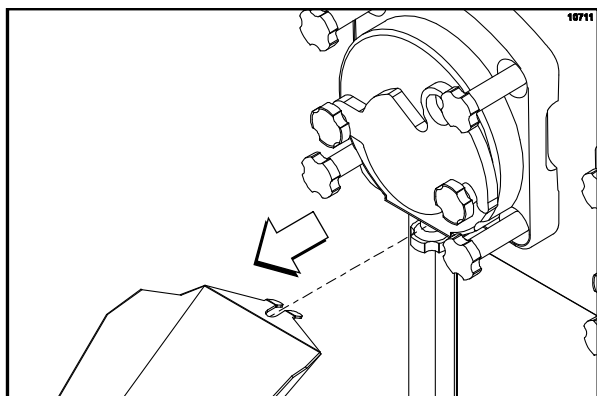


図29

手順15

ホッパーの底にあるミックス導入孔にフィードチューブアセンブリを取り付けます。ミックス導入孔にフィードチューブがしっかりとはめ込まれていることを確認します。

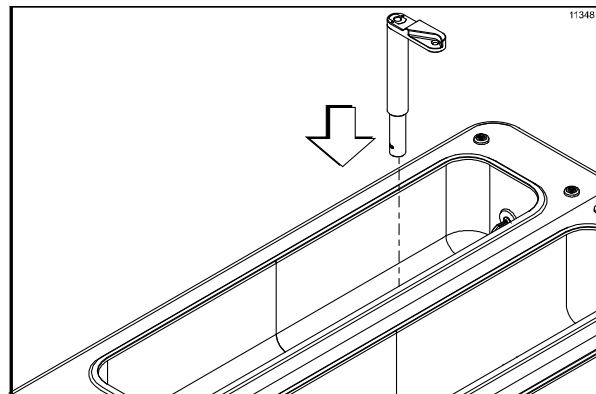


図30

手順16

フィードチューブの穴に流量制御棒の片方の先端を配置します。正面フロー制御レバーの穴に、棒のもう一方の先端を配置します。

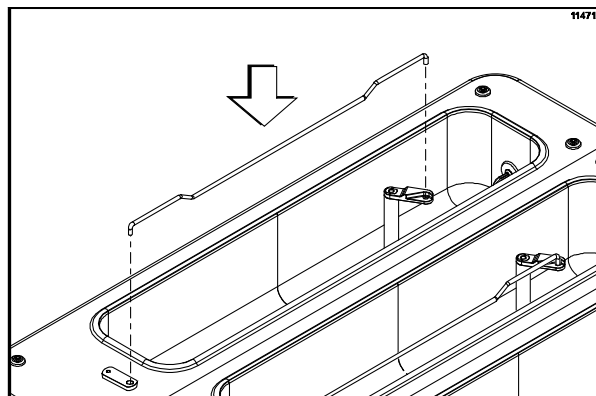


図31

手順17

消毒剤を流し出します。

残りの冷凍シリンダーでもこの手順を繰り返します。

プライミング(充填)



充填および排出用開口に指を入れないでください！これを怠ると重症や製品汚染、および機器への損傷などを招く恐れがあります。

手順1

重要: 流量調整ノブが「CLOSE(閉)」の位置にあり、ピーターモータースイッチがオフになっていることを確認します。ドローアームプレートを閉じる必要があります。

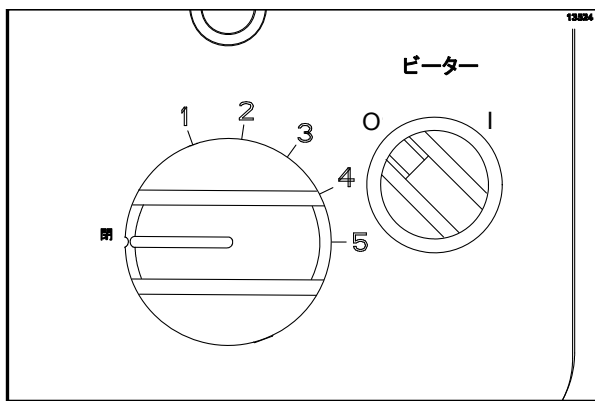


図32

注: 流量調整ノブはミックスの流れを調整するために使用されます。調整ノブを時計回りに回すと流量が増加します。反時計回りに回すと流量が減少します。製品の安定性を維持するために、必要に応じてミックスの流量を調整します。

手順2

ホッパーの前半分に、突起部が持ち上がったホッパーカバーを取り付けます。

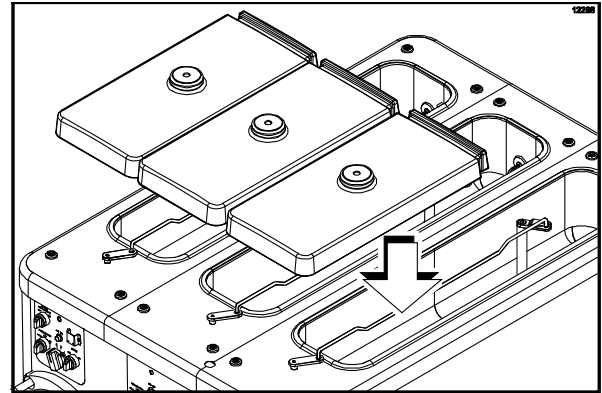


図33

手順3

ホッパーの冷蔵ノブをオンにしてタイマーを30分に設定します。

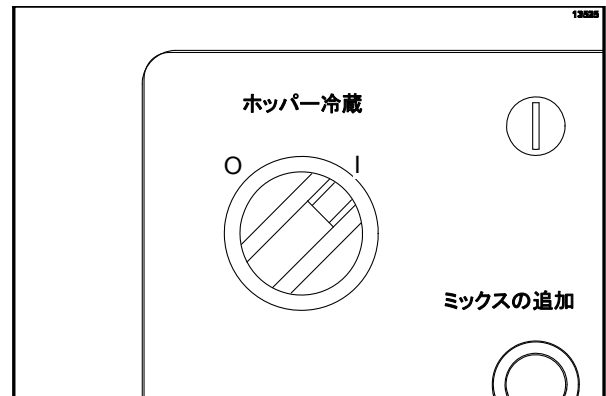


図34

手順4

30分後にホッパーに新鮮なミックスを充填します。

注: プライミングには必ず新しいミックスを使用してください。

手順5

ホッパーの後ろ半分に突起部がくぼんだホッパーカバーを取り付けます。容量を最大限に活用するため、ホッパーを完全に満たします。

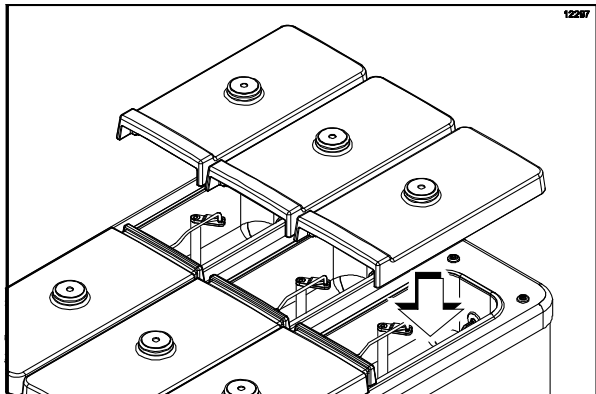


図35

手順6

ピータースイッチと冷蔵スイッチをオンにします。タイマーを1分に設定します。

注:ピーターのスイッチがオンになっていない限り、冷蔵スイッチは作動しません。

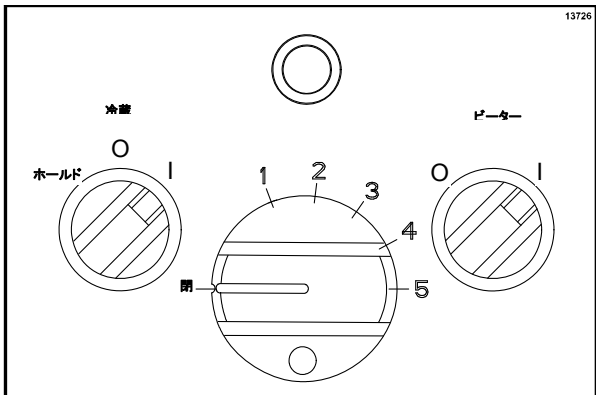


図36

手順7

1分後に流量調整ノブを「1」に合わせ、タイマーを3分に設定します。

注:調整を行う際には必ず、最初に調整ノブを「5」に回転してから希望する数字に合わせます。

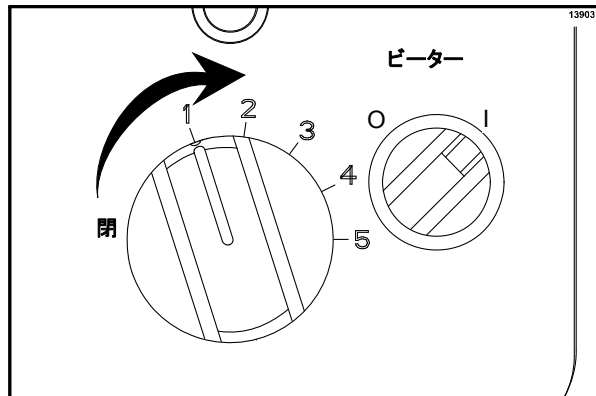


図37

手順8

3分後にドロアームプレートを開きます。カスタードが柔らかすぎる場合、ドロアームプレートを閉じて1分待ちます。カスタードが販売できる状態になるまでこれを繰り返します。

注:最初の数センチのカスタードには消毒溶液の残りが含まれているため、捨ててください。

手順9

ドロアームプレートを閉じます。手を消毒してから消毒済みの製品シュートを設置します。

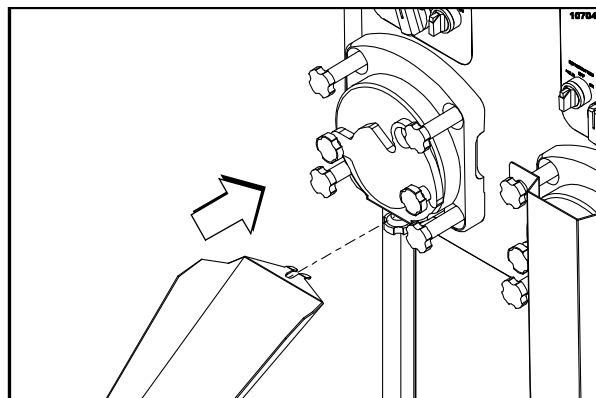


図38

手順10

ドローアームプレートを開きます。

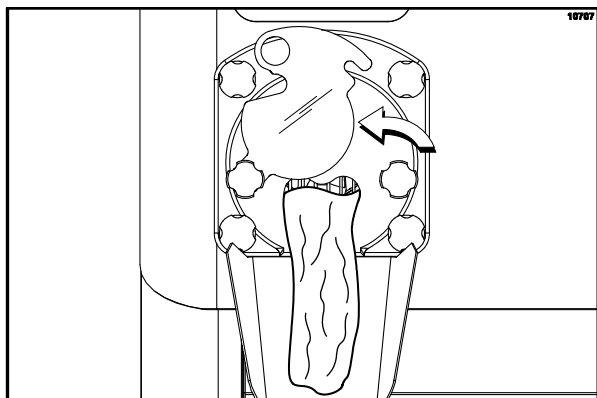


図39

注：カタカタという音は冷凍シリンダー内のミックスが不十分であることを示します。冷凍シリンダーへのミックスの流量を増やす必要があるかもしれません。流量制御ノブは1/2ずつのみ増やします。3～5分後に調整の結果が得られます。（調整する際には必ず最初に調整ノブを「5」に回転してから希望する数字に合わせます。）

手順11

望ましい量が得られるまで保存用キャビネットに冷凍カスタードを流入し続けます。製品の安定性を維持するために、必要に応じてミックスの流量を調整します。容量を最大限に活用するため、ホッパーが完全に満たされ、許容製品温度範囲において流量が最高になっていることを確認します。

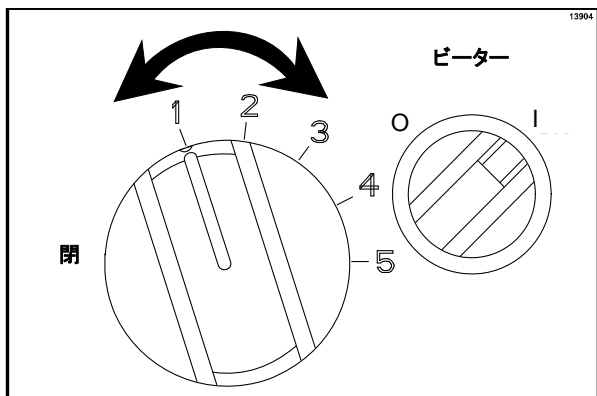


図40

手順12

その時点で適量が得られ、後に追加のカスタードを作る状況においては、23ページの「稼働中のホールドサイクル」の手順に従ってください。

手順13

残りの冷凍シリンダーでもこの手順を繰り返します。

稼働中のホールドサイクル

手順1

流量調整ノブを「CLOSE (閉)」の位置にします。タイマーを1分に設定します。

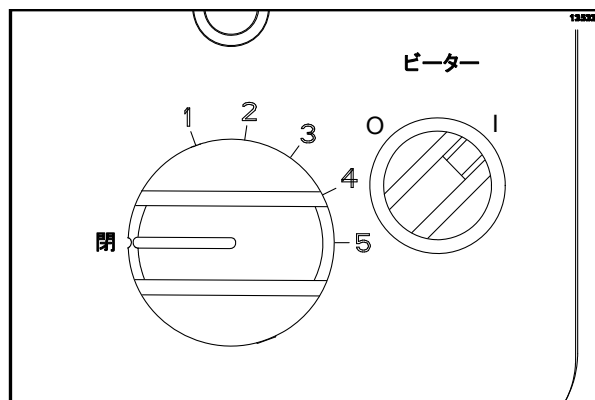


図41

手順2

1分後、カスタードの冷蔵スイッチを「HOLD (ホールド)」にします。

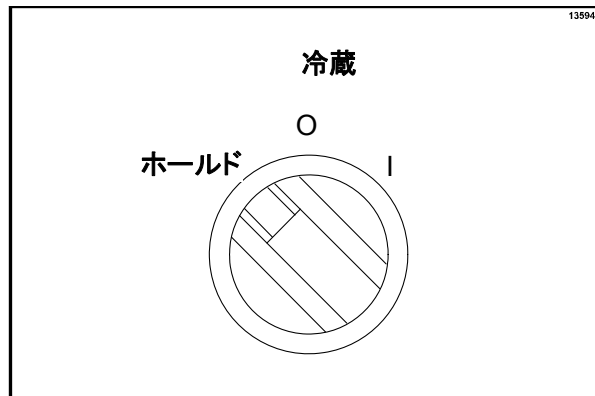


図42

手順3

冷凍カスタードが流出しなくなったら、
(約2分後)ビーターモータースイッチをオフにします。

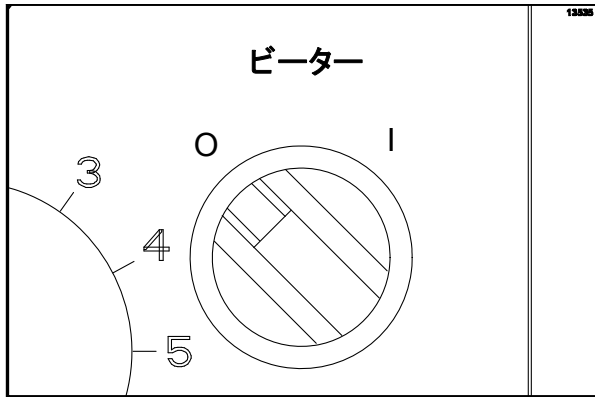


図43

手順4

レーキを使い製品のドアからカスタードをできるだけ削除します。

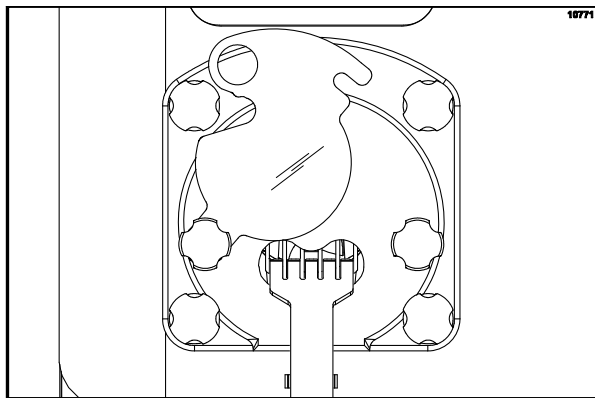


図44

ステップ5

ドロアームプレートを閉じます。左のボルト、右のボルトの順にナットがしっかりと締まっていることを確認します。

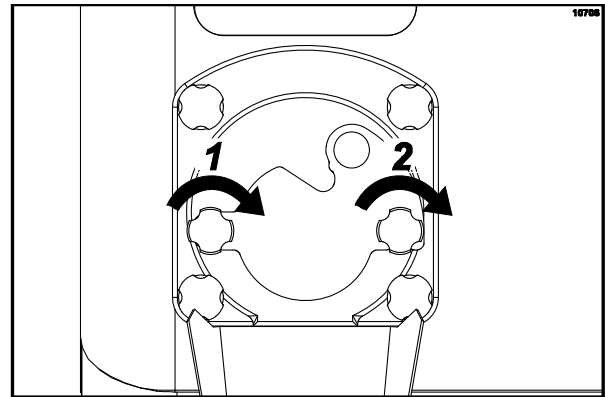


図45

手順6

カスタードシュートを外し、流しに移動して洗浄と消毒を行います。

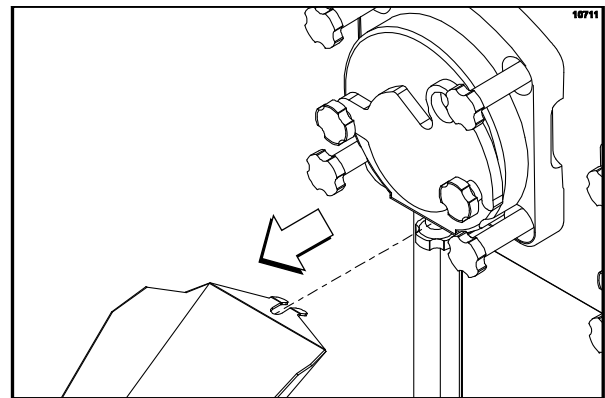


図46

手順7

ディッピング キャビネットのカバーを閉じます。

手順8

指定の100 PPMの消毒溶液をスクイズボトルに用意します。ドローアームプレートおよびボルト用ナットとその周囲に消毒液を絞り出し、残留物を削除します。必要に応じてドアの取出し口ブラシで清掃し、消毒液ですすぎます。

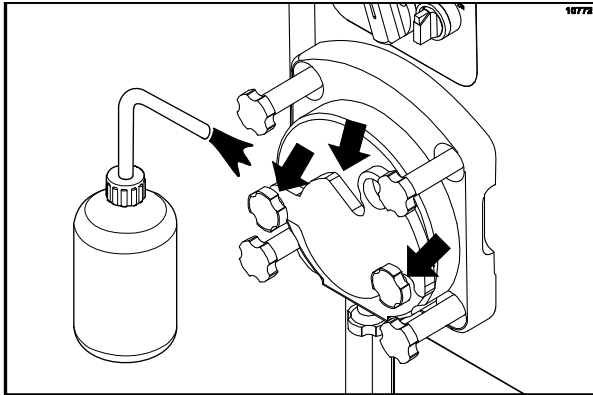


図47

手順9

残りの冷凍シリンダーでもこの手順に従います。

操作中に生産を再開する

手順1

ピーターのスイッチをオンにします。

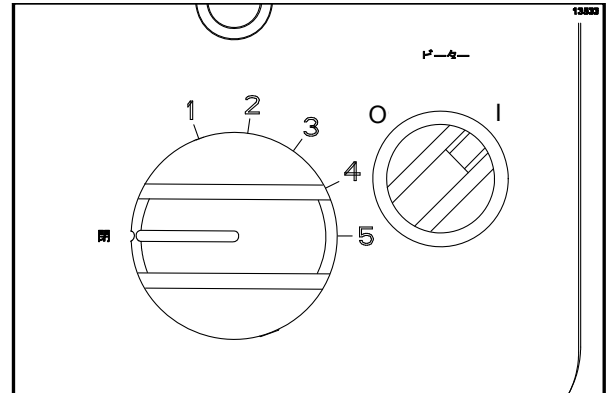


図48

手順2

冷蔵スイッチをオンにします。

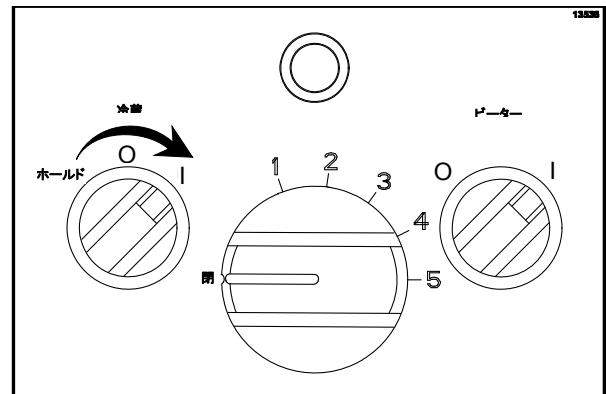


図49

手順3

タイマーを1分に設定します。1分後、流量調節アッセンブリーを「1」に開き、タイマーを3分に設定します。

注：調整を行う際には必ず、最初に調整ノブを「5」に回転してから希望する数字に合わせます。

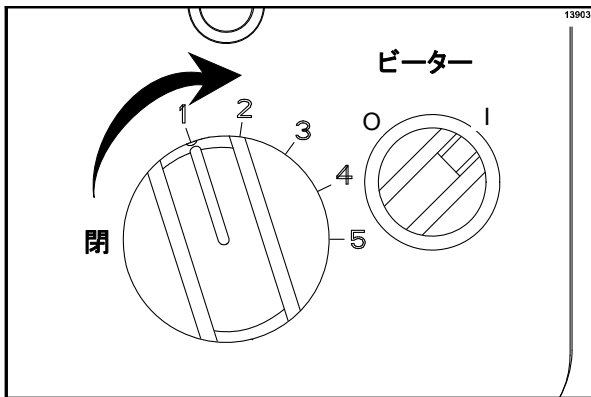


図50

手順4

3分後にドロームプレートを開きます。カスタードが柔らかすぎる場合、ドロームプレートを閉じて1分待ちます。必要に応じて繰り返します。

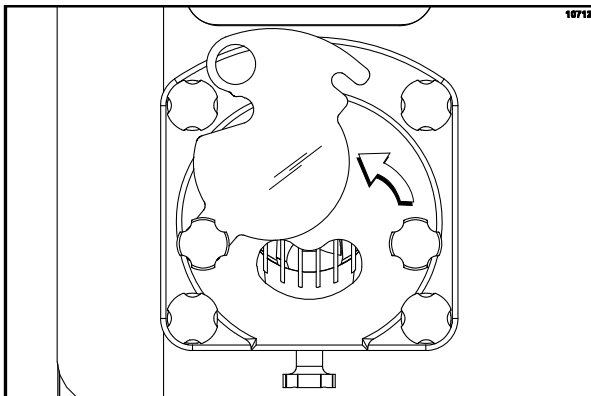


図51

手順5

カスタードが出てきたら、カスタードが望ましい硬さになるように流量調整ノブを調整します。製品が硬すぎる場合には流量調整ノブを右回りに、柔らかすぎる場合には左回りに回します。

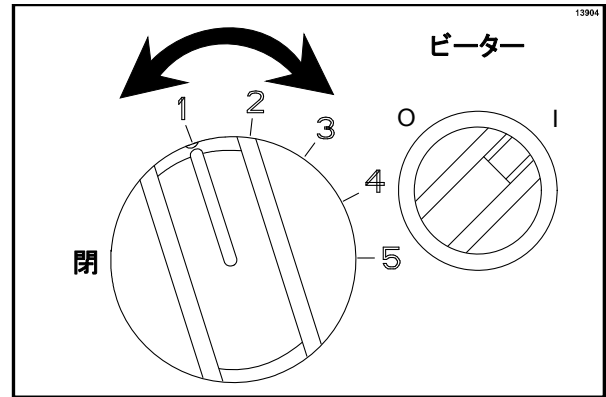


図52

手順6

カスタードが販売できる状態になったら、ドロームプレートを閉じます。手を消毒してから消毒済みのカスタードシュートを設置します。

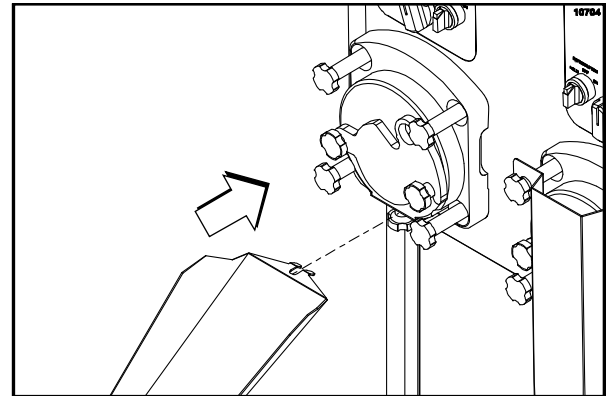


図53

手順7

ドロアームプレートを開きます。適量が得られるまで保存用キャビネットに冷凍カスタードを流入し続けます。製品の安定性を維持するために、必要に応じてミックスの流量を調整します。適量が得られ、後で追加のカスタードを作る場合は、23ページの「稼働中のホールドサイクル」の手順に従ってください。

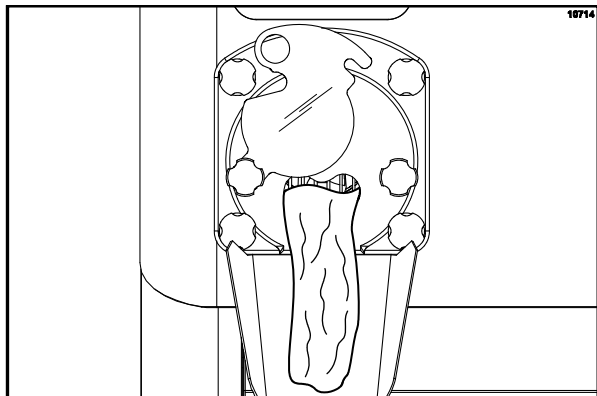


図54

手順2

タイマーを20分に設定します。これにより、冷凍シリンダーを暖めてから残りのカスタードを削除することができます。

手順3

ビーターのスイッチをオンにします。

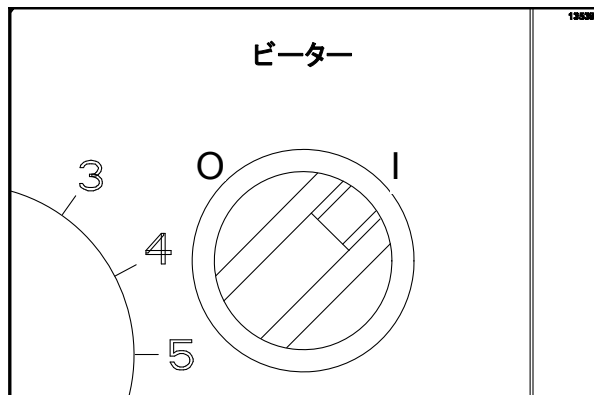


図56

遮断の準備

ホッパー内にミックスが残っている場合には、次の手順に従い冷凍シリンダー内のカスタードを削除します。

手順1

冷蔵のスイッチをオフにします。

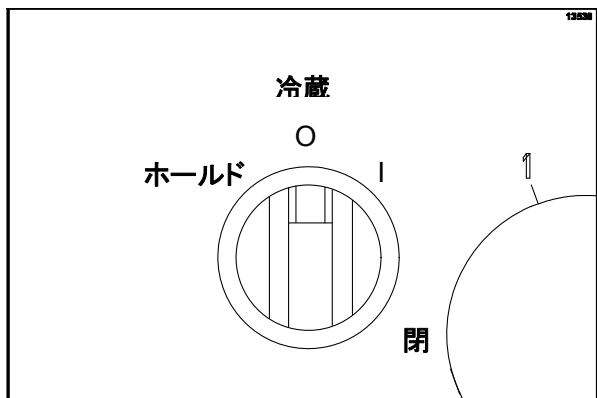


図55

手順4

ディッピング キャビネットのカバーを開きます。ドロアームプレートを閉じます。手を消毒してから消毒済みのカスタードシュートを設置します。

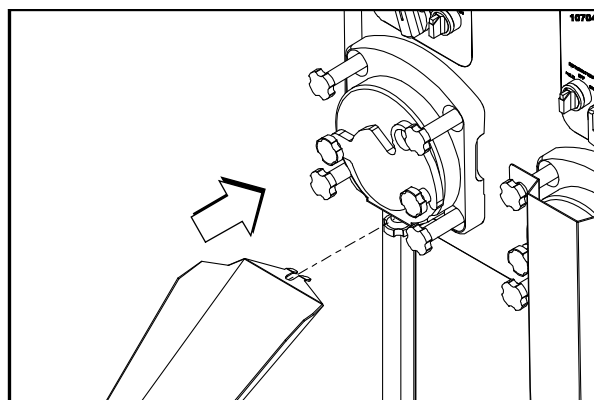


図57

手順5

ドロアームプレートを開き、流量調整ノブを「5」に設定します。残りのミックスを冷凍シリンダーに流し込み、ミックスを正しく処分します。

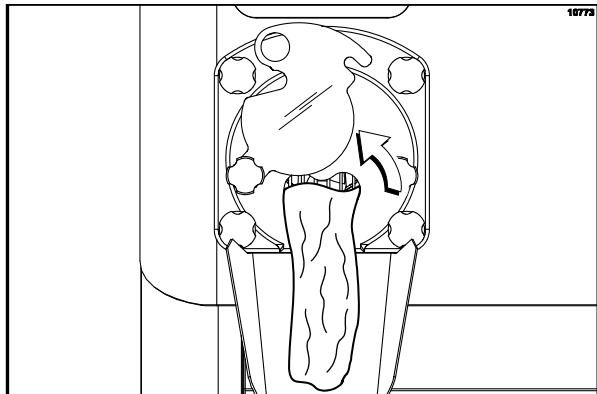


図58

注：地域の衛生基準でミックスの再使用が許可されている場合、消毒済みのNSF認可再生容器をフロントプレートの開口部に置き、残りのミックスを容器に流出させます。ミックスの再使用に関する手順については、36ページを参照してください。

手順6

ホッパーからカスタードがすべて流出した後に、ホッパーカバー、流量制御棒、およびフィードチューブを外します。

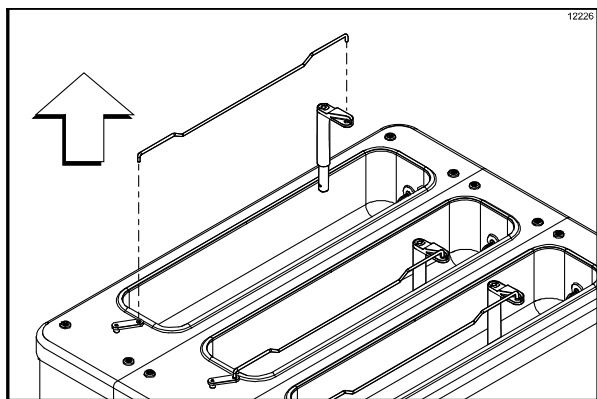


図59

手順7

残りの冷凍シリンダーでもこの手順に従います。

すすぎ

手順1

ホッパーの冷蔵のスイッチをオフにします。

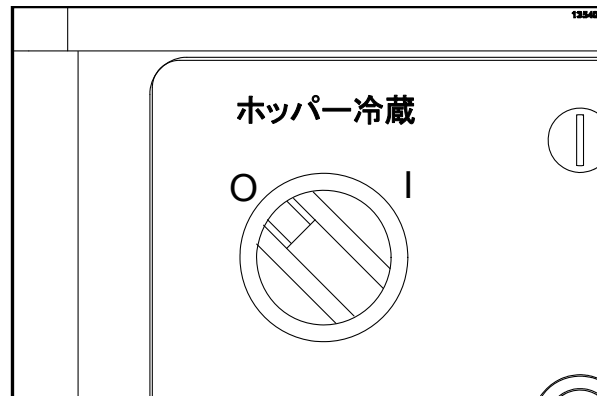


図60

手順2

冷蔵スイッチがオフになっていることを確認します。

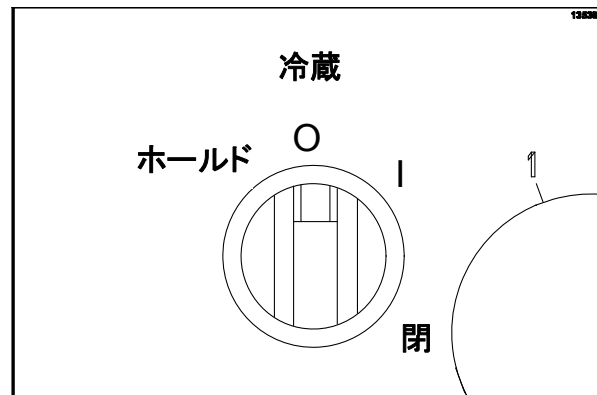


図61

手順3

ドローアームプレートを閉じて製品シートを外します。

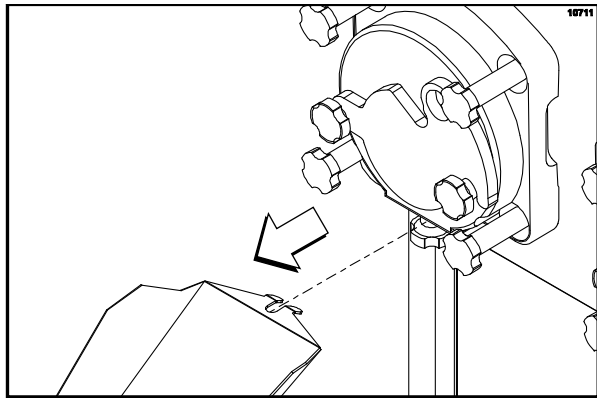


図62

手順4

スプラッシュガードを取り付けます。

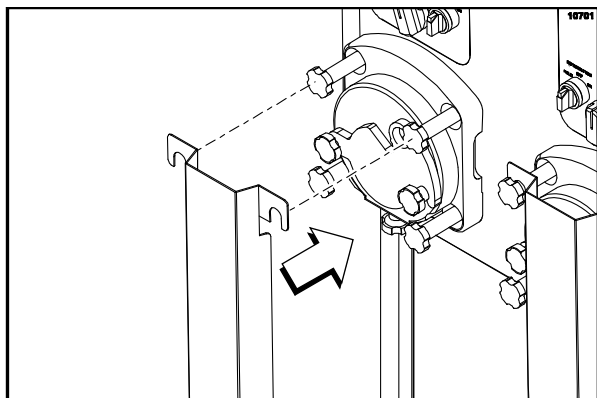


図63

手順5

ドローアームプレートの下にバケツを置き、ホッパーに15.2リットル(4ガロン)のきれいな冷水を注ぎます。(注: 機器に蛇口が付いている場合には、それを使ってください。)

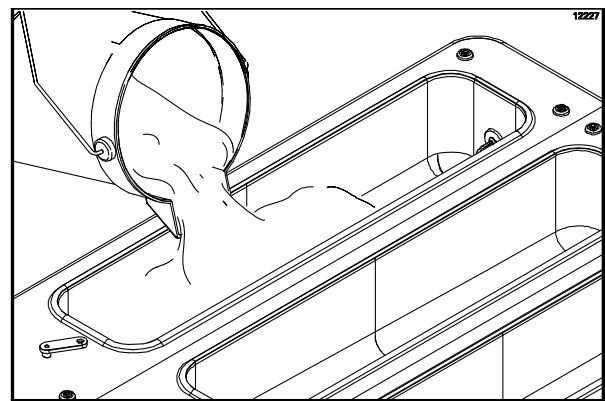


図64

手順6

専用のブラシを使ってミックスホッパーを洗います。

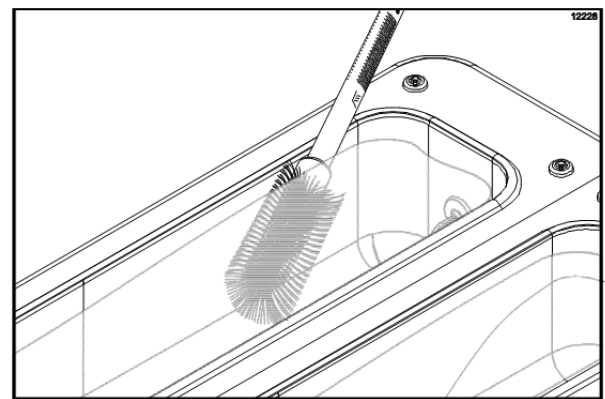


図65

手順7

ビーターのスイッチをオンにします。

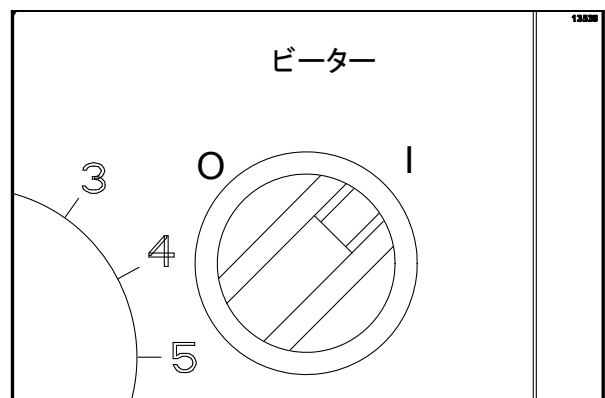


図66

手順8

ドロアプレートを開き、冷凍シリンダーから洗浄水を排水します。

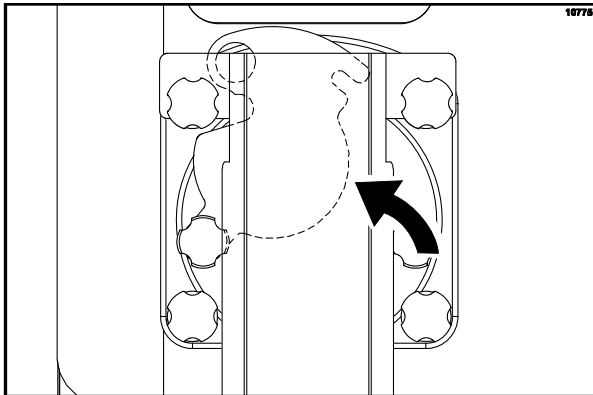


図67

手順9

ミックスの残留が完全になくなり水が透明になるまで、この手順を繰り返します。

手順10

ビーターのスイッチをオフにします。

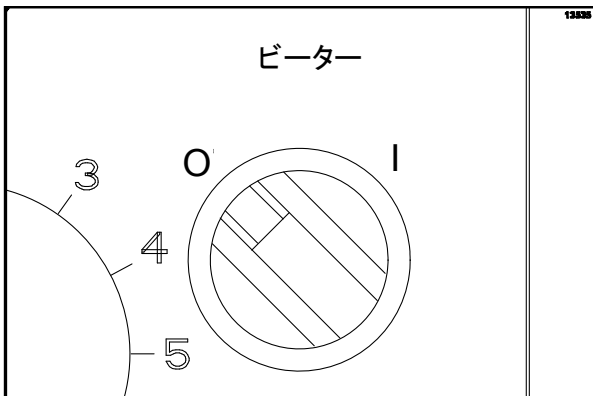


図68

手順11

残りの冷凍シリンダーでもこの手順に従います。

洗浄



要注意事項:これらの洗浄手順に従わないと、冷凍カスタード製品で細菌汚染が発生する危険があります。

手順1

冷蔵スイッチがオフになっていることを確認します。

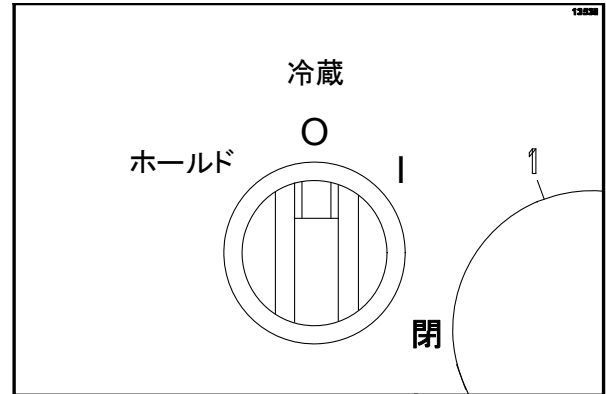


図69

手順2

ドロアプレートを閉じます。

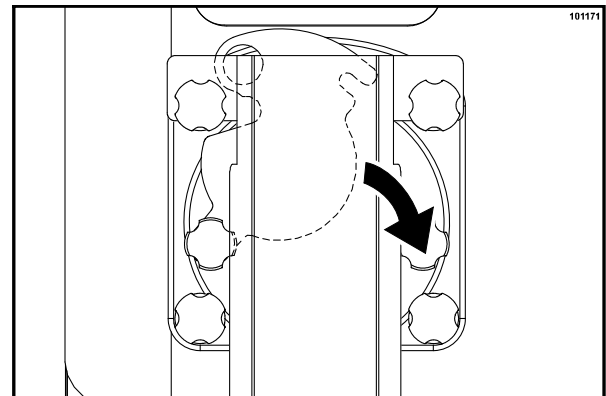


図70

手順3

ぬるま湯を使い、指定の100 PPMの消毒溶液を用意します(例: 19リットルのKay-5R、または15リットルのStera-SheenR)。温水を使い、メーカーの仕様に従って作業してください。

手順4

洗浄液をホッパーに流し込みます。ホッパーの側面と底部をブラシ洗浄します。

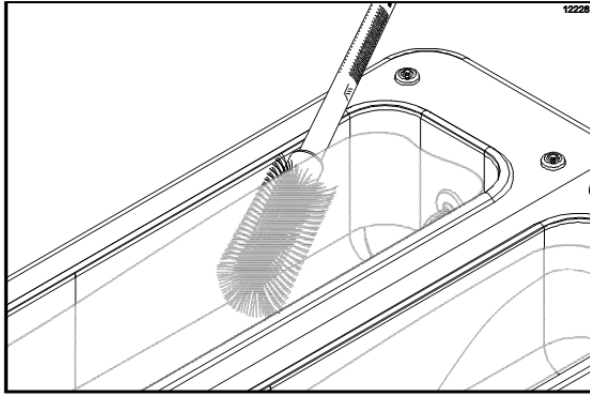


図71

手順5

ビーターのスイッチをオンにします。タイマーを5分に設定します。

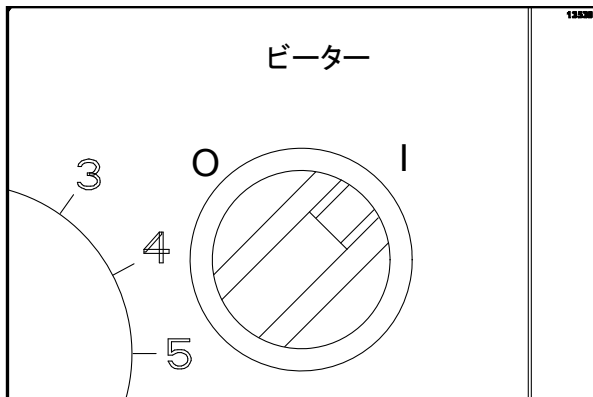


図72

手順6

5分後にドロアームプレートを開き、冷凍シリンダーから液体をすべて流し出します。

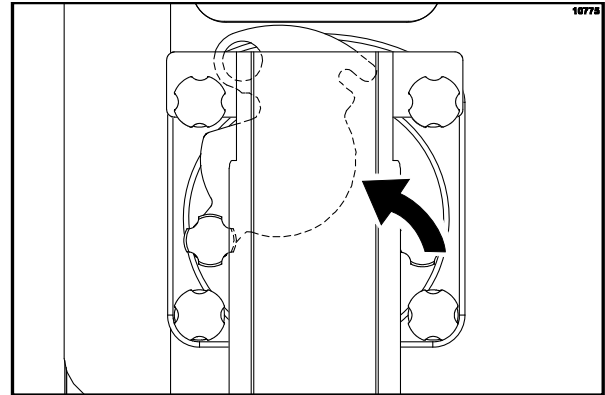


図73

手順7

ビーターのスイッチをオフにします。

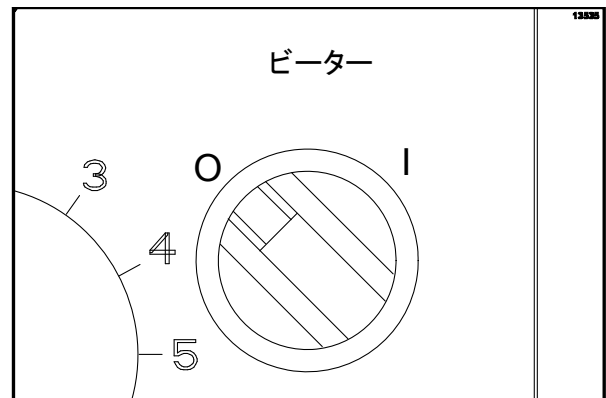


図74

手順8

すべての冷凍シリンダーでこの手順を繰り返します。

分解

手順1

ドアアッセンブリーを外します。

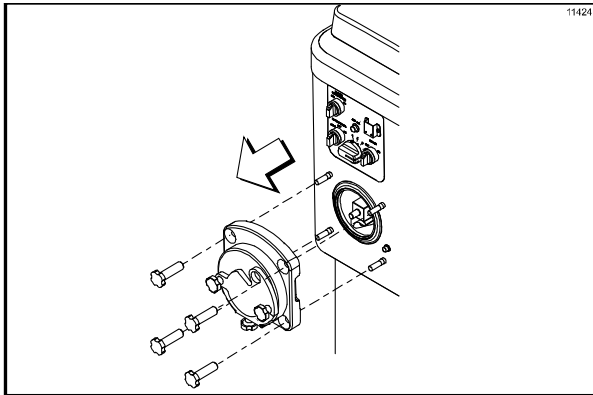


図75

手順2

ドアアッセンブリーを解体します。製品のドアからガスケットを外します。

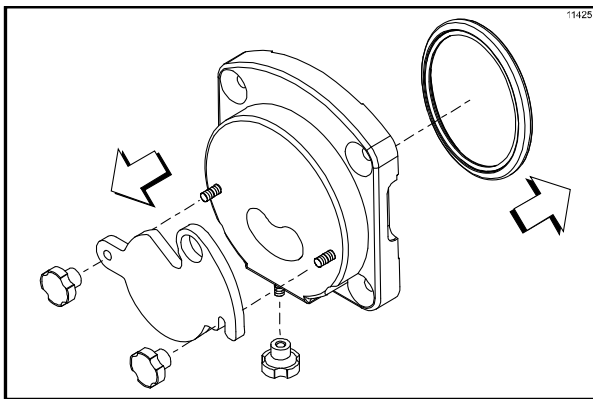


図76

手順3

ドアまたは回転棒からフロントベアリングを外します。

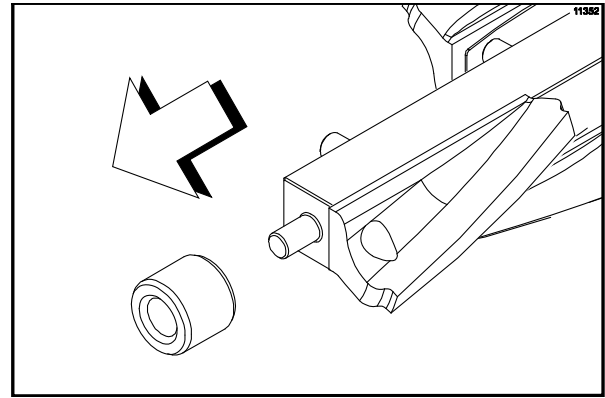


図77

手順4

回転棒を外しながら、ブレードとスプリングをすべて外し、洗浄用容器に入れます。

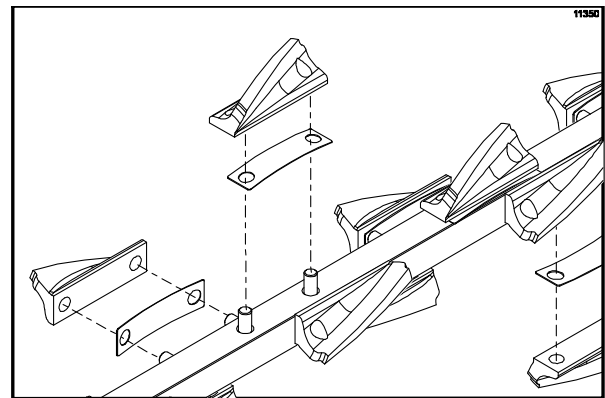


図78

手順5

後部封印材を回転棒から外します。使い捨てタオルを使って潤滑剤を封印材からふき取り、封印材を洗うために流しに移動します。

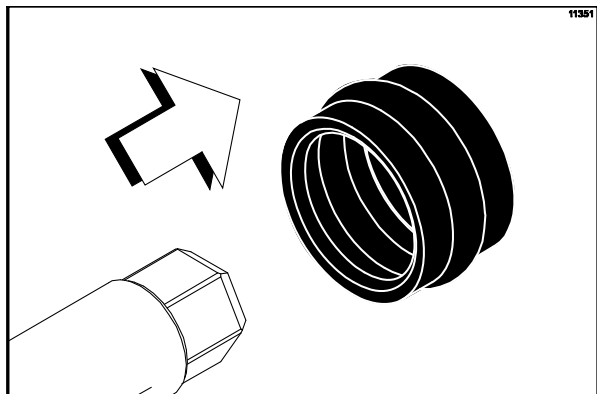


図79

注: 後部封印材が回転棒と共に突起せず、機械の後部にある駆動カップリング内に残っている場合は、次の手順を実行します。

- 3枚の刃と板バネを回転棒に取り付け直します。
- 六角の端が駆動カップリングにしっかりとハマるまで回転棒を冷凍シリンダーに挿入します。
- まっすぐに引いて回転棒を取り外します。
- 後部封印材が除去されるまで、必要に応じて繰り返します。

手順6

ホッパーカバー、フィードチューブ、および流量制御棒を外します。

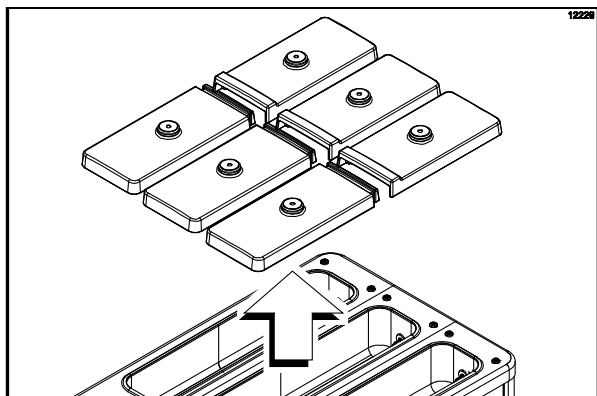


図80

手順7

すべてのパーツを完全に分解しブラシ洗浄するために、流しに移動します。

手順8

すべての冷凍シリンダーでこの手順を繰り返します。

ブラシ洗浄



注意事項: これらの洗浄手順に従わないと、冷凍カスタード製品で細菌汚染が発生する危険があります。

手順1

流しに指定のクリーニング溶液 (例: Kay-5または Stera-Sheen®) を用意します。温水を使い、メーカーの仕様に従って作業してください。承認された他の洗浄剤を使用する場合は、ラベルの指示に従って希釈してください。(**注意事項:** 表示ラベルに記載される指示に従ってください。溶剤が濃すぎるとパーツを損傷させる恐れがありますが、薄すぎると十分に洗浄できません。)

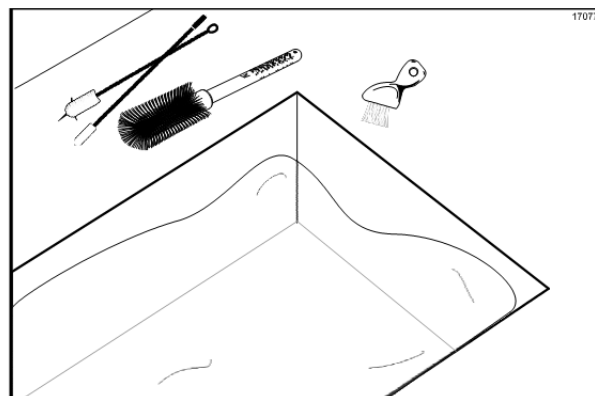


図81

ブラシ洗浄を行うときはフリーザー備品のブラシがすべて揃っていることを確認してください。

手順2

分解したパーツは洗浄溶液に浸しながらブラシで隅々まで洗浄し、潤滑剤やミックスの膜が完全に取れていることを確認してください。

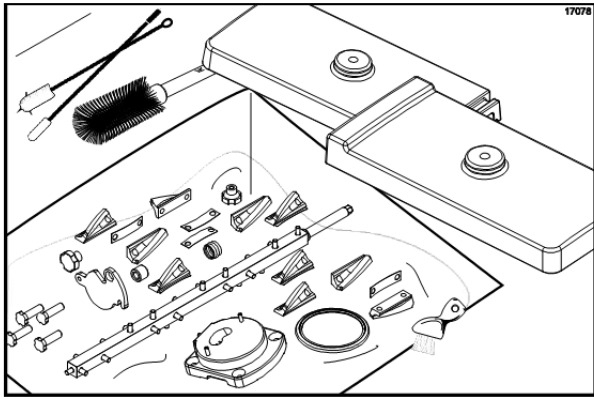


図82

手順3

両端ブラシを使い、フィードチューブ内部を洗います。

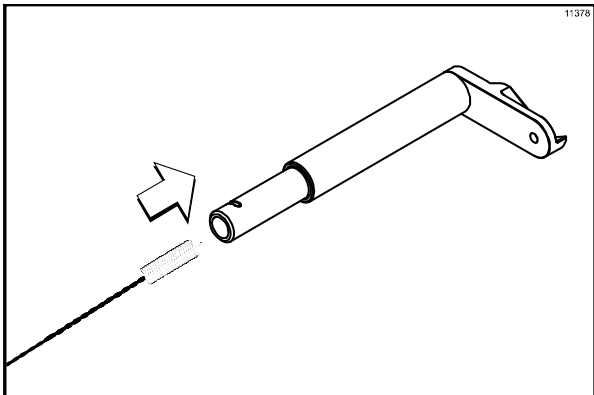


図83

手順4

少量の洗浄液を用意しフリーザーに戻ります。ドローバルブブラシ(2.5cm x 5cm x 42.5cm)を使い、各ミックスホッパー内のミックス導入孔をブラシで洗います。

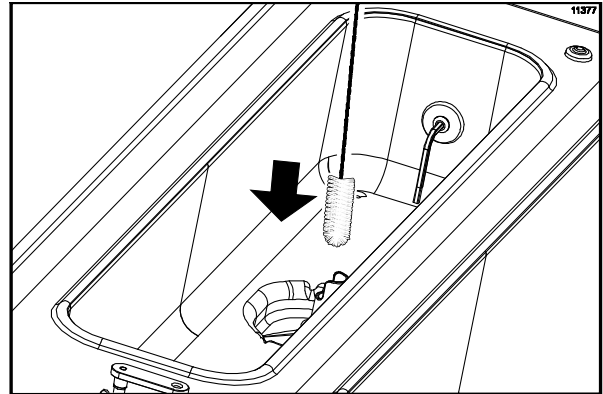


図84

手順5

黒い剛毛ブラシを使い、各冷凍シリンダーの後ろにあるリアシエルペアリングをブラシで清掃します。

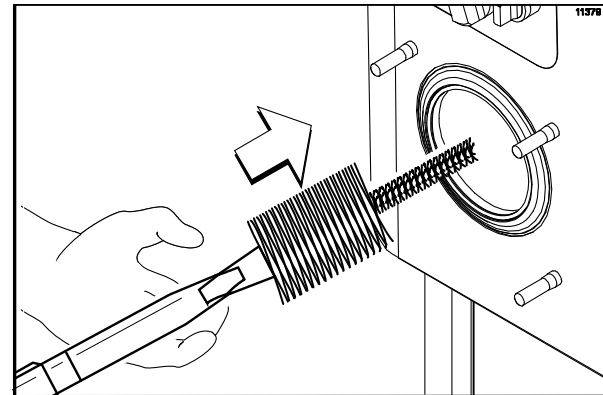


図85

手順6

長く白いブラシを使い、各冷凍シリンダーをブラシで洗います。

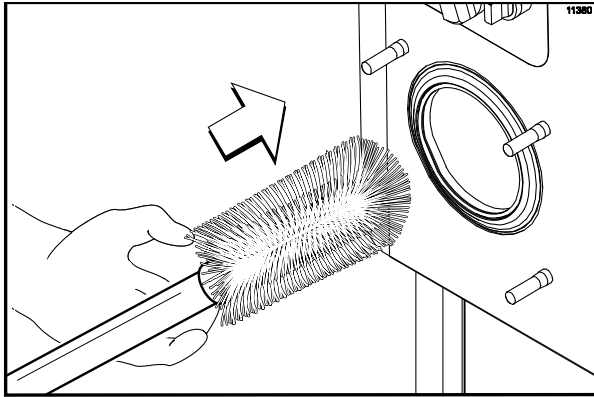


図86

手順7

流しに指定の消毒溶液(例:Kay-5またはSterasheen®)を用意します。温水を使い、メーカーの仕様に従って作業してください。

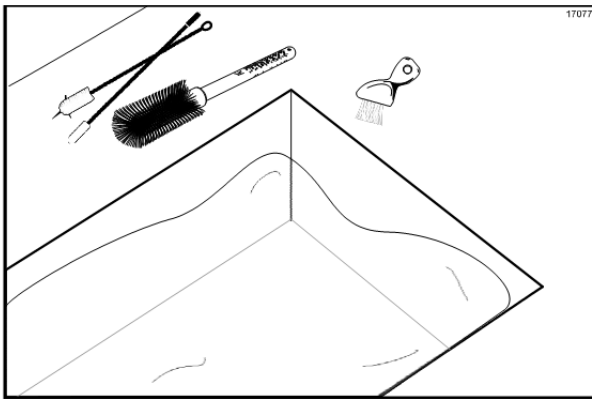


図87

手順8

消毒液を使って手順2を繰り返します。

手順9

洗浄したパーツは全て、清潔で乾燥した所に置き、一晩空気が乾燥させます。

手順10

リアドリップパンを空にして洗浄し、元の位置に設置します。

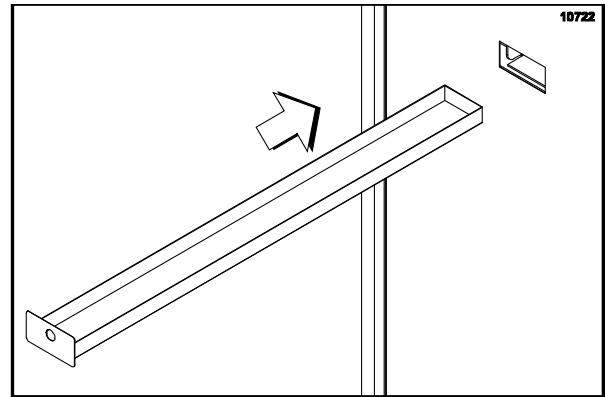


図88

手順11

きれいな消毒された布きんでフリーザー外面全体を拭いて清掃します。

洗浄と消毒を行う際に



地域の衛生基準に必ず従ってください。

清掃や洗浄のスケジュールは現地の規制機関によって管理されており、それに準じる必要があります。機器が「スタンバイモード」にある場合、これを衛生規制機関により確立された正しい洗浄と消毒の手順、および頻度の代わりに使うことはできません。洗浄と消毒中に次の点を徹底させてください。



洗浄と消毒は、毎日行う必要があります。

細菌数のトラブルシューティング

- 1. 完全な分解とブラシ洗浄を含め、機器を定期的に完全に洗浄および消毒します。
- 2. 完全に洗浄するための指定のブラシをすべて使用してください。これらのブラシは、ミックスの全通路内に完全にとどくように設計されています。
- 3. ミックスホッパーから冷凍シリンダーの後方にかけてのミックス導入孔を白い剛毛ブラシを使用して清掃します。
- 4. 黒い剛毛ブラシを用いて、冷凍シリンダーの後ろにあるリアシエルベアリングを完全に洗います。ブラシにはたぶつりと洗浄液が付いていることを確認してください。
- 5. 地域の衛生基準でミックスの再使用が許可されている場合、再使用ミックスを必ず消毒済みのふた付きステンレス容器に保存し、翌日に使用します。再使用ミックスで機器をプライムしないでください。再使用ミックスを使用する場合は、泡をすくって捨てます。営業日の日中に、50/50の割合で再使用ミックスと新鮮なミックスを混合します。
- 6. 毎週決まった曜日に、可能な限りミックスを流し出し、閉店後に廃棄します。これにより同じミックスが再使用されるのを防ぎ、細菌や大腸菌が増える可能性を低減します。）
- 7. 洗浄液と消毒液を正しく用意します。ラベルの指示読み、それに注意深く従ってください。溶液の濃度が濃すぎるとパーツが破損され、薄すぎると洗浄と消毒が十分に行われません。
- 8. ミックスホッパー内のミックスと冷蔵室の温度は4.4C (40F)未満である必要があります。

定期的なメンテナンスチェック

- 1. スクレーパーブレードに刃こぼれや破損がある場合には交換します。ピーターアッセンブリーを設置する前に、スクレーパーブレードと板ばねが正しく回転棒に設置されていることを確認します。
- 2. リアシエルベアリングに磨耗の兆候(リアドリッパーへの過剰なミックス漏れ)がないことと、洗浄が正しく行われていることを確認します。
- 3. 長いブラシと布タオルを使用して、リアシエルベアリングと雌六角駆動ソケットに潤滑剤とミックス堆積が無いように清潔に保ちます。
- 4. 封印材が磨耗、破損、または伸びてしまった場合は廃棄して、新しいものと交換します。
- 5. 「組立て」の説明にある、すべての潤滑の手順に従ってください。
- 6. お使いの機器が空冷式の場合には、コンデンサに汚れや糸くずが蓄積していないことを確認してください。コンデンサーが汚れていると、マシンの効率性や容量低下のもとです。コンデンサは、柔らかいブラシで毎月清掃する必要があります。ひれの間を清掃する際に、ドライバーや他の金属プロブを使用しないでください。

注:エアフィルターを装備した機器の場合は、毎月フィルターを掃除機で清掃する必要があります。



注意:コンデンサーを掃除する前に、必ず電力を切断してください。この指示に従わないと、感電死を招く恐れがあります。

- 7. お使いの機器が水冷式の場合、給水管にねじれや漏れがないことを確認します。ねじれは清掃やメンテナンスを行うために機器を前後に動かす際によく発生します。劣化や破損の見られる給水管の交換は、必ずテラーの認可販売代理店に依頼して行ってください。

冬期の保管

事業所が冬期中に閉鎖される場合、具体的な注意事項に従いフリーザーを保護することが重要です。これは特に建物が凍結する可能性がある場合に該当します。

潜在的な電気系統の損害を防止するために、主電源からフリーザーを外します。

水冷式フリーザーでは、水の供給を切断します。水バルブ内のばねの圧力を緩めます。コンデンサー内に残っている水を飛ばすために出口側の空気圧を使用します。**これは非常に重要です。**この手順に従わないと、冷凍システムに深刻かつ高価な損傷を与える可能性があります。

最寄りのテラー販売代理店が、この冬期の保管サービスを提供します。

ピーター、ブレード、回転棒、フリーザードアのような取り外し可能なフリーザーのパーツは覆い、安全で乾燥した場所に置きます。ゴムのトリムがあるパーツやガスケットは、防湿紙で覆って保護することができます。すべてのパーツから、ネズミや他の害虫を引き付ける乾燥ミックスや潤滑剤を完全にふき取ります。

水分を完全に削除するため、冬期保管物の排水を認可サービス技術員により実行することをお勧めします。これにより、部品の凍結や破裂を防ぐことができます。

第8章

トラブルシューティングガイド

| 問題 | 考えられる原因 | 対処 | 参照ページ |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--|---------|
| 1. ミックスが固すぎる。 | a. 抽出速度が遅すぎる。 | a. 抽出速度を調整します。 | 21 |
| 2. スクレーパーブレードがカタカタと鳴る。 | a. 抽出速度が遅すぎる。 | a. 抽出速度を調整します。 | 21 |
| 3. ミックスが柔らかすぎる。 | a. 抽出速度が速すぎる。 | a. 抽出速度を調整します。 | 21 |
| | b. 冷蔵システムに問題がある。 | b. 認可サービス技術員に連絡します。 | --- |
| 4. ミックス不足インジケータランプが点灯している。 | a. ミックスホッパー内のミックスが不足している。 | a. ホッパーをミックスで満たします。 | 21 |
| | b. 電気の接続に問題がある。 | b. 認可サービス技術員に連絡します。 | --- |
| 5. ミックス不足インジケータランプが点灯しており、ミックスが固すぎる。 | a. ミックスホッパー内のミックスが不十分で、抽出速度が遅すぎる。 | a. 製品がさらに必要な場合にはホッパーにミックスを満たします。製品がそれ以上必要でない場合は、流量制御を全開にして冷蔵スイッチをオフにします。 | 21 / 23 |
| 6. ビーターモーターが稼働しない。 | a. ビーターモーターが過負荷でトリップした。 | a. 機器をオフにします。リセットボタンを押して、機器を再起動します。 | --- |
| | b. ビーターのスイッチがオフになっている。 | b. ビーターのスイッチをオンにします。 | --- |
| | c. ビーターモーターのスイッチがオフになっている。 | c. ビーターモーターのスイッチをオンにします。 | --- |
| | d. ブレーカーがオフになっている、またはヒューズが飛んだ。 | d. ブレーカをオンにするか、またはヒューズを交換します。 | --- |

第9章

パーツ交換のスケジュール

| パーツの概要 | 3か月毎 | 6か月毎 | 1年毎 |
|--------------------------------------|------|-------------|-----|
| ブラシ - 両端 - ポンプ&フィード | | 必要に応じて点検・交換 | 最低 |
| ブラシ - ドローバルブ(外径2.5cm x 5cm x 42.5cm) | | 必要に応じて点検・交換 | 最低 |
| ブラシ - バレル | | 必要に応じて点検・交換 | 最低 |
| ブラシ - リアベアリング | | 必要に応じて点検・交換 | 最低 |
| ブラシ - ミックスポンプ本体 7.5cm X 17.5cm | | 必要に応じて点検・交換 | 最低 |
| ブラシ - 先端 - ドア - 取出し口-SS | | 必要に応じて点検・交換 | 最低 |
| ガスケット - ドア | X | | |
| ベアリング - ドア - フロント | X | | |
| 封印材 - 回転軸 | X | | |

テラー カンパニーのフリーザー限定保証

の部門であるテラーカンパニー（以下「テラー」という）は、一般的にテラーから市場に提供されている新規のテラー製フリーザー（以下「製品」という）に対し、最初の購入者のみに対して本限定保証を提供いたします。

限定保証

テラーは、以下のとおり通常の使用およびサービスにおける製造作業や材料が原因で発生した欠陥に対し製品を保証します。すべての保証期間は最初の製品設置年月日に開始します。該当保証期間中にパーツが故障した場合、テラーはその認可販売代理店またはサービス代理業者を介して、新規または再生されたパーツのどちらかをテラーの任意で選び、無料で故障した欠陥パーツを交換します。ここに記載されている場合を除き、これらは本限定保証において提供される製品故障に対するテラーの排他的義務です。この限定保証は、以下および裏ページ（ある場合）に記載されているすべての条項、条件、限定事項、除外事項の対象となります。

| 製品 | パーツ | 限定保証期間 |
|-----------|--|--------|
| ソフトクリーム | 断熱シェルアッセンブリー | 5年間 |
| フローズヨーグルト | 冷蔵コンプレッサー | 5年間 |
| シェイク | （サービスバルブを除く） | |
| スムージー | ビーターモーター | 2年間 |
| 冷凍飲料 | ビーター駆動ギア | 2年間 |
| パッチデザート | H8024200のシリアル番号を冒頭に持つプリント基板とSoftech制御盤 | 2年間 |
| | この表に含まれていないパーツ、または以下に除外されているパーツ | 1年間 |

限定保証の条件

1. 製品の最初の設置年月日が確認できない場合、限定保証期間は、製品製造日（製品のシリアル番号に示される）から90日後に開始します。サービス業務の際に購入証明書が必要とされる場合があります。
2. この限定保証は、製品が設置済みで、製品においてすべての必要なサービス作業がテラーの認可販売代理店またはサービス代理店によって行われ、新しいテラー製純正パーツが使用されている場合に限り有効です。
3. テラーのオペレーター用使用説明書に含まれるすべての指示に従い、設置、使用、手入れ、メンテナンスが正常に行われている必要があります。
4. 欠陥パーツはテラー認可販売代理店またはサービス代理店に返却してクレジットを得る必要があります。
5. 製品のデータラベルに指定された以外の冷却剤を使用すると、この限定保証が無効となります。

限定保証の例外

以下の項目は限定保証の**対象外**となります。

1. 診断、修復、削除、設置、出荷、および欠陥パーツ、交換パーツ、または新しい製品のメンテナンスや処理に際して発生する労働およびその他の費用。
2. テラーのオペレーター用使用説明書に記載されている通常のメンテナンスおよび清掃と潤滑剤の供給。

3. テーラーのオペレーター用使用説明書でクラス「000」のパーツとして指定されている摩耗品目の交換。
4. 外部ホース、電力供給装置、および機器の接地。
5. テーラーにより供給または指定されていないパーツ、またはそれらの使用から発生する破損。
6. サービス技術者が到着後保証サービス作業を速やかに開始できないために必要とされる移動や待機時間。
7. 適切なアセンブリおよび清掃技術、ツール、または承認された清掃用品を使用しないことを含むがこれらに限られない、テーラーのオペレーター用使用説明書に示される、設置の不具合、誤用、乱用、修理の怠り、不適切な修理、不正な改ざん、または不適切な操作および使用に起因する故障、損傷、および修理。
8. 盗難、破壊行為、風、雨、洪水、高水位、水、雷、地震およびその他の自然災害、火災、腐食環境、昆虫や齧歯動物の侵入、またはテーラーによる合理的な支配の及ばない理由から生じる事故や状況から生じる故障、損傷、および修理。製品の電気または水の供給における仕様範囲外の操作。性能および通常の磨耗や劣化に悪影響をもたらすとテーラーが判断するコンポーネントの補修や変更がなされたパーツや装置。
9. インターネット経由で購入したすべての製品。
10. 電圧の状況、ヒューズ切断、回路遮断器の切断を理由とする起動失敗、または電気系補修の不備または中断を理由とする破損。
11. 電気や燃料の費用、または理由を問わず電気や燃料の全費用の増加。
12. 製品のデータラベルに指定された以外の冷却剤を使用した結果生じた破損に対して、この限定保証が無効となります。
13. 冷却剤の費用を含む、冷却剤の交換、詰め替え、廃棄の費用のすべて。
14. **すべての性質の、すべての特別な間接的または派生的な資産または商用の損害。**間接的または派生的な損害の責任の除外を禁じる法的管轄においては、この制限はお客様に適用されません。

この限定保証は特定の法的権利を付与するものであり、お客様はその法的管轄に対応したその他の権利も有する場合があります。

保証の制限

本限定保証は排他的であり、特定の目的に対する黙示的な保証、または商品性や適合性の条件も含め、法律における他のすべての保証、条件や救済に代わるものです。いかなる製品に関しても、最初の所有者の唯一の救済は、本限定保証の条件における修理または欠陥コンポーネントの交換に限られます。間接的または派生的な破損（販売損失の請求、逸失利益、製品損失、資産損害、サービス費用を含む）に対する権利はすべて明示的に除外されます。本限定保証における明示的な保証は一切、いかなる販売代理店、販売店、他者によっても修正、増補、および変更することはできません。

法的救済

所有者は製品におけるすべての欠陥や苦情を、以下の住所に公認または書留郵便により書面でテーラーに通知しなければなりません。これには保証されている製品の欠陥や苦情、および修理、交換、またはその他の補正を求める具体的な要請を含め、法的権利を遂行する、または救済を追求する少なくとも30日前に郵送するものとします。

Taylor Company
750 N. Blackhawk Blvd.
Rockton, IL 61072, U.S.A.

テラー カンパニーの純正パーツに対する限定保証

の部門であるテラーカンパニー（以下「テラー」という）は、一般に市場で販売されているテラー製の新規のTaylor純正交換コンポーネントおよびパーツ（以下「パーツ」という）に対し、最初の購入者のみに対して本限定保証を提供いたします。

限定保証

テラーは、以下のとおり通常の使用およびサービスにおける製造作業や材料が原因で発生した欠陥に対しパーツを保証します。すべての保証期間は、テラーの機器におけるパーツの最初の設置年月日に開始します。該当保証期間中にパーツが故障した場合、テラーはその認可販売代理店またはサービス代理業者を介して、新規または再生されたパーツのどちらかをテラーの任意で選び、無料で故障した欠陥パーツを交換します。ここに記載されている場合を除き、これらは本限定保証において提供されるパーツの故障に対するテラー独自の義務です。この限定保証は、以下および裏ページ（ある場合）に記載されているすべての条項、条件、限定事項、除外事項の対象となります。

| パーツの保証クラスコードまたはパーツ | 限定保証期間 |
|--|--------|
| クラス103パーツ ¹ | 3か月 |
| クラス212パーツ ² | 12か月 |
| クラス512パーツ | 12か月 |
| クラス000パーツ | 保証対象外 |
| テラーパーツ番号072454 (Motor-24VDC *C832/C842*) | 4年 |

限定保証の条件

1. パーツの最初の設置年月日が確認できない場合、サービスの際に購入証明書が必要とされる場合があります。
2. この限定保証は、パーツが設置されており、パーツにおいてすべての必要なサービス作業がテラーの認可販売代理店またはサービス代理店によって行われている場合に限り有効です。
3. 最初の設置場所において最初の所有者が所有するパーツに限り、この限定保証の対象となります。
4. テラーのオペレーター用使用説明書に含まれるすべての指示に従い、設置、使用、手入れ、メンテナンスが正常に行われている必要があります。
5. 欠陥パーツはテラー認可販売代理店またはサービス代理店に返却してクレジットを得る必要があります。
6. この保証は、冷凍庫またはグリル機器に対する別のテラー限定保証の規定に基づき提供される保証期間を短縮することを意図していません。
7. パーツが設置されている機器で指定された以外の冷却剤を使用すると、この限定保証が無効となります。

^{1,2} 例外：テラーのパーツ番号032129SER2（Compressor-Air-230V SERV）およびテラーのパーツ番号075506SER1（Compressor-Air-115V 60HZ）の限定保障期間は、テラーの冷蔵機器で使われた場合12か月、テラーのグリル機器で使われた場合2年間とします。

限定保証の例外

以下の項目は限定保証の**対象外**となります。

1. 診断、修復、削除、設置、出荷、および欠陥パーツ、交換パーツ、または新しいパーツのメンテナンスや処理に際して発生する労働およびその他の費用。
2. コンデンサーのすす汚れとグリース蓄積物の清掃を含む、テラーのオペレーター用使用説明書に記載されている通常のメンテナンスおよび清掃と潤滑油の供給。
3. プラテンとプレートおよび覆いの脇や上部を含む調理面におけるグリース蓄積物に対応し、適切な調理を可能とし、リリース材シートやクリップの正しいアセンブリを可能とする、上側プラテンと下側プレートを含む調理面アセンブリを操作可能な状態に戻すための清掃や一般の修復に必要なサービス。
4. 調理中にへらの使用により生じる破損や、テラーにより認可されていないクリーナーや清掃材の使用および清掃手順から生じる孔食や腐食（上側プラテンの場合、メッキ損失を原因とするもの）によるその他の小さな摩耗を理由とする上側プラテンと下側プレートを含む調理面の交換。
5. テラーのオペレーター用使用説明書でクラス「000」のパーツとして指定されている摩耗品目の交換、および製品の上側プラテン アッセンブリー用のすべてのリリース材シートとクリップ。
6. 外部ホース、電力供給装置、および機器の接地。
7. テラーにより供給または指定されていないパーツ、またはそれらの使用から発生する破損。
8. サービス技術者が到着後保証サービス作業を速やかに開始できないために必要とされる移動や待機時間。
9. 適切なアッセンブリーおよび清掃技術、ツール、または承認された清掃用品を使用しないことを含むがこれらに限られない、テラーのオペレーター用使用説明書に示される、設置の不具合、誤用、乱用、修理の怠り、不適切な修理、不正な改ざん、または不適切な操作および使用に起因する故障、損傷、および修理。
10. 盗難、破壊行為、風、雨、洪水、高水位、水、雷、地震およびその他の自然災害、火災、腐食環境、昆虫や齧歯動物の侵入、またはテラーによる合理的な支配の及ばない理由から生じる事故や状況から生じる故障、損傷、および修理。パーツが設置されている機器のガス、電気または水の供給における仕様範囲外の操作。性能および通常の磨耗や劣化に悪影響をもたらすとテラーが判断するコンポーネントの補修や変更がなされたパーツや機器。
11. インターネット経由で購入したすべてのパーツ。
12. 電圧の状況、ヒューズ切断、回路遮断器の切断を理由とする起動失敗、または電気系補修の不備または中断を理由とする破損。
13. 電気、ガス、その他の燃料の費用、または理由を問わず電気、ガス、その他の燃料の全費用の増加。
14. パーツが設置されている機器で指定された以外の冷却剤を使用した結果生じた破損。
15. 冷却剤の費用を含む、冷却剤の交換、詰め替え、廃棄の費用のすべて。
16. **すべての性質の、すべての特別な間接的または派生的な資産または商用の損害。**間接的または派生的な損害の責任の除外を禁じる法的管轄においては、この制限はお客様に適用されません。

この限定保証は特定の法的権利を付与するものであり、お客様はその法的管轄に対応したその他の権利も有する場合があります。

保証の制限

本限定保証は排他的であり、特定の目的に対する黙示的な保証、または商品性や適合性の条件も含め、法律における他のすべての保証、条件や救済に代わるものです。いかなる製品に関しても、最初の所有者の唯一の救済は、本限定保証の条件における修理または欠陥パーツの交換に限られます。間接的または派生的な破損(販売損失の請求、逸失利益、製品損失、資産損害、サービス費用を含む)に対する権利はすべて明示的に除外されます。本限定保証における明示的な保証は一切、いかなる販売代理店、販売店、他者によっても修正、増補、および変更することはできません。

法的救済

所有者はパーツにおけるすべての欠陥や苦情を、次の住所に公認または書留郵便により書面でテラーに通知しなければなりません。これには保証されているパーツの欠陥や苦情、および修理、交換、またはその他の補正を求める具体的な要請を含め、法的権利を遂行する、または救済を追求する少なくとも30日前に郵送するものとします。

Taylor Company
750 N. Blackhawk Blvd.
Rockton, IL 61072, U.S.A.